

市 民 交 流 課

○ 市民交流関係

1 市民活動促進事業

(1) いせ市民活動センター指定管理者制度

平成16年4月に開設をし、同年7月から、指定管理者制度を導入して公設民営により運営している。

期 間	委 託 金 額	指定を受けた管理者
<第1期> 自 16. 7. 1 至 17. 3. 31	円 7,828,000	特定非営利活動法人 いせコンビニネット
<第2期> 自 17. 4. 1 至 21. 3. 31	48,202,000	〃
<第3期> 自 21. 4. 1 至 24. 3. 31	46,777,000	〃
<第4期> 自 24. 4. 1 至 29. 3. 31	59,832,000	〃
<第5期> 自 29. 4. 1 至 32. 3. 31	41,177,000	〃

ア いせ市民活動センター運営事業

- ・市民活動の拠点として、また中間支援施設としての市民公益活動の相談、ホームページ、SNS、情報誌（「パルティ」年4回発行）等広報ツールを活用し、市民活動に関する情報の収集及び提供等を行った。
- ・市民活動を深く広めるため、市民及び団体との交流事業を図るよう促した。

年 月 日	内 容
29. 7. 9	第4回「ダンスワールドin伊勢」（注）
29. 7. 9	第21回ミュージックコミュニケーション（注）
29. 8. 6	登録団体意見交換会&交流会
29.10.31	応急手当講習会
29.12. 3	伊勢アート&クラフトフェア
29.12.16	第22回ミュージックコミュニケーション（注）
30. 3.24	第8回いせ市民活動フェスティバル

（注）「いせ市民活動センター災害復旧支援プロジェクト」（通称、つながりプロジェクト）のためのチャリティーイベントとしても開催。

- ・ワーキングスペースに印刷機、コピー機を設置。

また、会議スペース、フリースペース、情報スペースを開放し市民活動を支援した。

イ センター管理業務

施設利用の登録、使用許可及び施設・設備及び機器の維持管理

(施設稼働状況)

	北 館				利用者数	南 館	
	平均稼働率					平均稼働率	利用者数
	多目的ホール	A会議室	B会議室	1 Fホール			
24. 4. 1 ～ 25. 3. 31	% 34.2	% 41.2	% 47.3	% 28.3	人 43,737	% 24.9	人 14,778
25. 4. 1 ～ 26. 3. 31	41.7	45.1	52.0	29.2	47,116	22.6	15,351
26. 4. 1 ～ 27. 3. 31	38.5	47.1	57.1	32.7	48,841	25.1	16,785
27. 4. 1 ～ 28. 3. 31	31.9	42.8	49.5	27.8	43,031	26.2	15,130
28. 4. 1 ～ 29. 3. 31	37.1	48.6	54.3	32.6	43,911	28.7	15,623
29. 4. 1 ～ 30. 3. 31	34.6	45.9	49.7	39.7	46,014	26.1	18,762

平均稼働率・・・稼働実績時間数 / (稼働可能時間(11時間) × 稼働可能日数) × 100

(登録団体数)

基準日	25. 3. 31	26. 3. 31	27. 3. 31	28. 3. 31	29. 3. 31	30. 3. 31
登録団体数	162	174	185	180	182	184

(2) 工事関係

いせ市民活動センターの敷地内及び機器類の修繕工事を行った。

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
岩湊1丁目地内	(注) いせ市民活動センター非常用発電機等修繕工事	非常用発電機取替一式	17,180,000円 【契約額】 28,620,000 〔平成28年度〕 11,440,000 〔平成29年度〕 17,180,000	29. 2. 10	29. 8. 8

(注) 建築住宅課施行、平成28年度から一部繰越

2 活性化活動事業

市内に活動拠点を置く地域グループや活動団体が、元気で活気溢れる地域づくりに貢献し、市民自治の担い手として活動を継続的に続けるために、その経費の一部を補助している。選考は平成29年4月16日に公開プレゼンテーションを実施し、審査員（民間及び外部有識者6名を委嘱）が審査し決定した。

補助金の補助率は対象経費の10分の8以内、10万円を限度として交付した。

（対象事業）

保健、医療又は福祉の増進、子どもの健全育成、社会教育、まちづくりの推進、学術・文化・スポーツの振興、環境の保全、災害救援、地域安全、人権の擁護又は平和の推進、国際協力、男女共同参画社会の促進、雇用機会の拡充支援、情報化社会の発展等

平成29年度交付決定団体（申請6団体うち交付決定6団体）

団体名	事業名	交付額
外宮にぎわい会議	第18回御塩道を歩く	円 100,000
いせ第九実行委員会	平成29年度「いせ第九コンサート」	100,000
セイラビリティ伊勢	障がい者海洋スポーツ体験会	41,000
本町春木太鼓	本町春木太鼓の伝承活動を通じた地域ふれあい事業	100,000
NPO法人三重音楽療法地域推進協会（MTちいき）	『ライブスペース☆伊っ勢の！』	100,000
二見浦西行実行委員会	西行法師に係る啓発と発信	48,000
計		489,000

3 伊勢のまつり開催事業

市民が「見て」、「参加して」楽しめる行事を通じて、市民の一体感の醸成を図るとともに市民文化の向上に寄与し、ふるさとづくりの推進を図ることを目的とした「伊勢まつり」を総勢69団体の代表者等からなる実行委員会により企画・運営を行った。

また、「伊勢まつり」、「神嘗奉祝祭」、「初穂曳」が開催される期間を『おおまつりウィーク（平成29年度は10月7日～16日）』として情報発信を行った。

（1）日 時 平成29年10月7日（土）9：50～21：00
平成29年10月8日（日）10：00～17：40

（2）場 所 高柳商店街周辺～県道鳥羽松阪線（曾祢交差点）～伊勢市駅周辺

（3）内 容 ・幼稚園児のマーチング、小学生の鼓笛等のパレード、お木曳車の運行
・ねぶた飾り車の運行、楽器演奏、ダンス、マジック等のパフォーマンス
・来場者も参加できる「みんなで踊ろう！！伊勢音頭」
・市内団体・事業者を中心とした展示・販売ブース

(4) 来場者数 7日(土)約7万人 8日(日)約8万人 計約15万人

(5) 平成29年度の特徴

- ・各場所がバランスよく賑わうよう、会場を縮小(宮町交差点～曾祢交差点間をカット)
- ・三交イン前付近の線路側歩道に観覧者用ベンチを新設
- ・宮後交差点付近にパレード団体PRポイントを新設
- ・厚生小学校駐車場内に「思いやり駐車場区画」を新設
- ・「伊勢まつり案内所」前に「車椅子貸出所」「障がい者用観覧席」を新設
- ・当日の状況をSNS発信するためFacebookページを試験運用

(6) 参加者 パレード(県道上)(37団体約3,800人)

イベント(尼辻交差点、一之木交差点、伊勢市駅前)(42団体約1,600人)

出展・出店テント (135団体約1,100人)

計 214団体(約6,500人)

4 伊勢市矢持会館管理事業

農林漁業体験実習館を、平成23年4月1日から名称変更をし、指定管理者制度を導入して公設民営の集会施設として運営している。地域住民のふれあいの場に供し、交流活動を通じた地域づくりの推進を図っている。

(1) 指定管理者 矢持町下村区

(2) 指定管理料 275,000円(年額)

(3) 指定管理期間 平成28年4月1日～平成33年3月31日

(4) 利用者数 2,562人(平成29年度)

○ コミュニティセンター関係

1 地区コミュニティセンター維持管理経費

地域社会づくりを推進するための地域活動の場に供するとともに、市民の生活文化の向上及び福祉の増進を図るため、地区コミュニティセンターを設置している。地域活動のための場として地域住民が会議室及び図書室を利用している。

コミュニティセンター使用状況

(1) 神社地区コミュニティセンター(みなとデイサービスセンターに併設)

図書室利用状況	
利用者数	貸出人数
人	人
619	349

(2) 大湊地区コミュニティセンター

会議室利用状況				図書室利用状況	
会議室1	会議室2	計	利用者数	利用者数	貸出人数
件	件	件	人	人	人
38	31	69	1,151	1,344	629

(3) 浜郷地区コミュニティセンター

会議室利用状況				図書室利用状況	
会議室1	会議室2	計	利用者数	利用者数	貸出人数
件	件	件	人	人	人
177	0	177	2,399	581	273

(4) 宮本地区コミュニティセンター

会議室利用状況				図書室利用状況	
会議室1	会議室2	計	利用者数	利用者数	貸出人数
件	件	件	人	人	人
208	107	315	3,677	138	70

(5) 豊浜地区コミュニティセンター

会議室利用状況				図書室利用状況	
会議室1	会議室2	計	利用者数	利用者数	貸出人数
件	件	件	人	人	人
46	30	76	968	78	22

(6) 北浜地区コミュニティセンター

会議室利用状況				図書室利用状況	
会議室1	会議室2	計	利用者数	利用者数	貸出人数
件	件	件	人	人	人
83	25	108	1,816	272	34

(7) 城田地区コミュニティセンター

会議室利用状況				図書室利用状況	
会議室1	会議室2	計	利用者数	利用者数	貸出人数
件	件	件	人	人	人
252	68	320	5,557	1,002	214

(8) 沼木地区コミュニティセンター・伊勢市沼木農村環境改善センター

会議室利用状況				図書室利用状況	
会議室	生活研修室	計	利用者数	利用者数	貸出人数
件	件	件	人	人	人
42	85	127	2,118	95	34

○ 国際交流事業関係

1 多文化共生事業

市民ボランティア及び外国籍を持つ人々と「ともに暮らす国際交流のまちづくり」を推進した。

(1) 外国人住民への支援

ア 外国人研修制度により来日した技能実習生対象の説明会を開催（12回）

イ 「外国人をサポートするための避難所運営訓練」等の開催

三重県国際交流財団に委託し、災害発生時の外国人住民への情報提供、避難所運営に関する実践的な訓練や外国人住民を対象とした防災説明会を行った。

(ア) 外国人のための防災説明会

- ・日 時 平成29年12月9日（土）13：30～16：00
- ・場 所 伊勢市防災センター4F防災多目的ホール及び3F防災体験学習室
- ・対 象 外国人（市内在住、在勤、在学）
- ・参加人数 50人（中国21人、ブラジル9人、ミャンマー6人、ベトナム2人、フィリピン1人、日本11人）

(イ) 外国人受け入れのための避難所運営に関する研修会

- ・日 時 平成30年2月4日（日）13：00～16：00
- ・場 所 伊勢市防災センター4F防災多目的ホール
- ・対 象 避難所担当職員、まちづくり協議会関係者（厚生、進修、御菌）他
- ・参加人数 43人（※うち、まちづくり協議会関係者20人）

(ウ) 外国人のための情報取得方法説明チラシ作成

災害発生時に、外国人自らが情報を取得できるよう、中国語、ポルトガル語、英語、やさしい日本語によるチラシを2,000部作成した。（※次項「外国人全世帯への情報提供」で配布）

ウ 外国人全世帯への情報提供

防災関係情報（中国語、ポルトガル語、英語、やさしい日本語）、その他生活に関わる情報等を市内在住外国人全世帯610世帯へ配布した。

エ 三重県市町多文化共生ワーキングへの参加

外国人の定住化が顕著になる中、県内の外国人住民と共生する施策を考えるための多文化共生ワーキングが三重県及び14市町のメンバーにより開催され、計8回参加した。

2 国際交流推進事業

(1) 伊勢市国際交流協会

国際交流事業を通して、市民と外国の人々との交流、親善の促進と国際相互理解の増進を図り、世界平和の理念の達成に資するとともに、国際感覚あふれるまちづくりに寄与することを目的として活動している。市は、事務局としてその活動を支援し、市民とともに国際化

に関する事業を推進している。

平成30年3月末会員数 個人会員78人、団体会員6団体、企業会員2企業

主な事業 ・外国人住民のための日本語教室（いせ日本語教室）

場 所 いせ市民活動センター南館2階

日 時 毎週火曜日 10:00～11:30 44回開催

毎週木曜日 19:00～20:30 43回開催

学習支援ボランティア 延べ846人

学習者（外国人） 延べ656人

・交流会の開催

外国料理教室（年2回）や外国人との交流イベント等を開催した。

・国際関係団体との連携

災害時外国人対応事業や国際交流イベント事業へ委員として参加した。

（2）講演会『外交官が語る～伊勢志摩サミット「食のおもてなし」の舞台裏～』及び伊勢志摩サミット写真展の開催

伊勢志摩サミット開催後1年の節目に、ポストサミットの取り組みとして講演会及び写真展を開催した。

ア 講演会 日 時 平成29年6月4日（日）13:30～15:00

場 所 いせ市民活動センター北館（いせシティプラザ）多目的ホール

内 容 実際に伊勢志摩サミットの準備に携わった外交官を招き、G7首脳とその配偶者や国際メディアセンターでの「食のおもてなし」をテーマに、舞台裏事情を交えた講演をしていただいた。

また、農林水産課、商工労政課と連携し、会場内で伊勢志摩サミットに関連する農産物や食品等の展示、ふるまいを行った。

参加人数 95人

イ 写真展 日 時 平成29年5月29日（月）～6月4日（日）9:00～21:00

場 所 ミタス伊勢 催事場

内 容 伊勢志摩サミットにおける各場面の写真パネルを展示した。

（3）伊勢市国際交流フェスティバル

市民の国際感覚の醸成を目的として、市内外の国際交流・多文化共生関係団体で構成する伊勢市国際交流フェスティバル実行委員会を結成し、「伊勢市国際交流フェスティバル」を実施した。

・開催日 平成30年3月4日（日）

・会場 伊勢市ハートプラザみその

・来場者数 約600人

- ・実施内容 国際交流や多文化共生に関するブース展示
国際交流や多文化共生に関するワークショップ開催
スタンプラリーによる外国料理の提供
「地球のステージ」公演の開催

○ 災害ボランティアセンター関係

1 災害ボランティア推進事業

市と市社会福祉協議会が関係団体などと協働して運営する市災害ボランティアセンター(以下、「センター」という)に関して、有事の際に円滑な運営ができるよう、関係団体との連携や新たな人材を育成するための取り組みや、センターの運営者研修等を行った(市社会福祉協議会への負担金により実施)。また、台風21号豪雨災害に係る被災者支援を行った。

(1) 関係団体との連絡会

- ・開催日 平成29年7月19日(水) 10:00~12:00
- ・会場 伊勢市ハートプラザみその 2階 保健会議室
- ・参加人数 20人

(2) 台風21号豪雨災害に係る被災者支援

台風21号豪雨災害に対応するため、非常時体制を組み、家屋の床上・床下浸水等の被害を受けた被災者に対し、被災家屋の家財道具の搬出、畳上げ等の様々な支援について、ボランティアとのマッチングを行った。

実施の際には市内外のボランティアや多くの関係団体にご協力いただいた。

- ・非常時体制期間 平成29年10月24日(火)~11月30日(木)
- ・相談件数 124件
- ・ボランティア 延べ458人

(3) 災害ボランティアコーディネーター養成講座

災害時体制の中で、センターの運営を支える人材を育てるため、講義と実践を交えた講座を実施した。

- ・開催日 平成29年12月16日(土)、17日(日)
- ・会場 皇學館大学 7号館 711教室
- ・修了者人数 32人

(4) 災害ボランティアコーディネータースキルアップ研修

養成講座の修了者を対象に、センター運営時におけるリーダーとしての役割を学んでいただく場を設け、さらなる知識や技術の向上を図った。

- ・開催日 平成29年11月19日(日)
- ・会場 伊勢市ハートプラザみその 2階 保健会議室
- ・参加人数 20人

(5) 災害ボランティアセンター運営訓練

養成講座の修了者および市内関連団体を対象に実施した。平成 29 年度は、ケース毎の対応方法について考えを話し合うなど、現場判断の難しさを体験していただいた。

- ・開催日 平成30年 1月13日（土）13：00～17：00
- ・会場 伊勢市ハートプラザみその 多目的ホール
- ・参加人数 73人

○ 男女共同参画関係

1 男女共同参画に関する啓発記事の掲載

男女共同参画に関する意識啓発のため、「広報いせ」紙面を活用し、公募市民3人の企画編集で、男女共同参画推進表彰事業者を訪問し、男女ともに働きやすい職場環境についてのインタビュー記事を「めざそや！共同参画」の中に掲載した。

発行日	内 容
5月15日号	・これからの企業に必要なものは？ ・あなたにとって働きやすい職場とは？
8月15日号	・みんなが楽しく働ける職場にしたい 認定 NPO 法人ときわ会「藍ちゃんの家」 ・特徴ある休暇で、休みやすい雰囲気に 株式会社ぎゅーとら
11月15日号	・有給休暇をしっかりと取ろう 株式会社 赤福 ・働くのは人生を豊かにするため 有限会社 南勢建築設計
2月15日号	・シフトどおりに働ける工夫を 有限会社 くらべ ・平成 29 年度の受賞事業者紹介 株式会社 ゴーリキ 株式会社 奥野建設 ・みんなが笑顔になれる職場に

2 男女共同参画推進事業委託

「伊勢市男女共同参画都市宣言」「伊勢市男女共同参画推進条例」の理念を広く市民に周知するとともに、「第2次伊勢市男女共同参画基本計画」の実現に向け、各種の取り組みを行った。主に市民向けの啓発事業の企画運営は、市民団体「NPO男女共同参画れいんぼう伊勢」に委託した。

(1) 三重県内男女共同参画連携映画祭の開催

男女共同参画を推進するために、三重県内の男女共同参画センター5館と21市町が連携し、

映画祭を開催した。

(伊勢市での開催状況)

開催日	開催場所	内容	参加人数
29. 7. 9	伊勢市ハートプラザみその 多目的ホール	映画「この世界の片隅に」 上映会	人 344

(2) パートナーの日の啓発

男女がお互いを思いやり、感謝する日として条例で定めた「パートナーの日(8月17日)」を広く市民に周知するため、啓発事業を実施した。

(啓発品等配布)

実施日	実施場所	配布数	内容
29. 8. 17	ミタス伊勢	枚・個 300	・啓発用ウェットティッシュ、パートナーの日・映画「みんなの学校」のチラシ、れいんぼう新聞などの配布 ・ぎゅーとら社員によるパートナーの日に作りた い料理の実演販売(藤里店のみ)
	ぎゅーとら ハイジー店	300	
	ぎゅーとら 藤里店	270	

(3) れいんぼうカフェの開催

だれもが生きやすい社会づくりのため、気軽に立ち寄り、悩みを話したり共有したりできる居場所づくりに取り組んだ。

開催日	開催場所	内容	参加人数
29. 5. 28	伊勢市生涯学習センター いせトピア 研修室	市長と話そう! れいんぼうカフェ	人 27

(4) れいんぼうフェスタの開催

ア 男女が共に性別にかかわらず自分らしく生きるヒントを提供した。

開催日	開催場所	内容	参加人数
29. 9. 30	ハートプラザみその 多目的ホール	映画「みんなの学校」上映会	人 105
		宇梶剛士講演会 演題「～転んだら、どう起きる?～」	219

イ 父親の子育てへの参加促進と親子がふれあう機会を提供した。

開催日	開催場所	内容	参加人数
30. 2. 11	ミタス伊勢 催事場	おはなし会、森の親子工作教室・バルーン アート・懐かしい遊び体験・ぬり絵・缶バ ッチづくり・カプラ・スタンプラリーなど	人 大人 132 子ども 118

(5) まつりにおける啓発

市民に広く男女共同参画を啓発するため、伊勢まつり等に出展し啓発を行った。

開催日		内 容
29. 5. 3	横浜ゴム ふれ愛まつり	パネル展示、チラシ・啓発物品などの配布、子ども用アンケート
29.10. 7	伊勢まつり	パネル展示、チラシ・啓発物品などの配布、子ども・大人用アンケート

(6) その他の啓発事業の開催

開催日	開催場所	内 容	参加者
29. 6.11	いせトピア 和室	「赤ちゃんとパパのためのベビーマッサージとふれあいあそび」ベビーマッサージ（対象：赤ちゃんとその父親）	組 13
	いせトピア れいんぼうルーム	「赤ちゃんとパパのためのベビーマッサージとふれあいあそび」絵本講座（対象：母親）	人 10
30. 3.24	御菌公民館 講堂	あたりまえの生活をするための「介護の勉強会」介護保険のしくみや申請の仕方、介護サービスの内容および介護技術等 講師：三重県介護福祉士会会長 大田京子さん	人 49

3 第3次伊勢市男女共同参画基本計画の策定

平成25年3月に策定した「第2次伊勢市男女共同参画基本計画」の計画期間が平成29年度末で終わるため、第3次伊勢市男女共同参画基本計画を策定した。策定にあたっては、伊勢市男女共同参画審議会に諮問を行い、意見を求めた。審議会では、市民意識調査、事業所アンケートの結果及びパブリック・コメントによる意見等を反映し、庁内推進委員会での協議を踏まえ、3回の審議会を経て答申書が提出された。それを受け、3月に第3次基本計画を決定した。

(策定業務委託)

委託業務名	委託期間	委託金額	委託業者
第3次伊勢市男女共同参画基本計画策定業務委託	自 29. 5.10 至 30. 3.31	円 2,916,000	株式会社 創建 三重支店

4 男女共同参画審議会の開催

男女共同参画に関する施策の実施状況等に対して意見を徴するため開催した。また、第3次伊勢市男女共同参画基本計画について諮問を受け、次のとおり審議を行い、答申書を提出した。

	開催日	内 容	出席委員数
第1回	29. 6.20	・平成29年度の取り組みについて ・第3次伊勢市男女共同参画基本計画策定について 市長から諮問書提出	人 12/15

第2回	29. 7. 28	・平成28年度事業実施状況報告書（案）について ・第3次伊勢市男女共同参画基本計画策定について	人 12/15
第3回	29. 12. 1	・第3次伊勢市男女共同参画基本計画（案）について	10/15
第4回	30. 3. 5	・第3次伊勢市男女共同参画基本計画（案）について	12/15
	30. 3. 6	・答申書の提出	会長 会長職務代理

5 男女共同参画推進委員会の開催

第3次伊勢市男女共同参画基本計画の策定について、庁内推進委員で協議した。

	開催日	内 容	出席委員数
第1回	29. 7. 20	・伊勢市の男女共同参画の取り組みについて ・第3次伊勢市男女共同参画基本計画策定について	人 12/16
第2回	29. 12. 6	・第3次伊勢市男女共同参画基本計画（案）について	13/16

6 企業に向けた啓発

企業における男女共同参画の推進のため、企業訪問や三重県と「みえのイクボス養成講座」を共催した。また、事業所等における男女共同参画の取り組みを促進するため、積極的に取り組んでいる事業所等を表彰した。

(1) 企業訪問

実施日	訪問先	内 容
29. 11. 27 ～12. 8	キクカワエンター プライズ株式会社 他16社	・働きやすい職場づくり、休暇制度の充実・利用 促進等の啓発 ・国、県の制度の紹介

(2) 企業対象研修講座

開催日	会 場	内 容	参加者
30. 2. 13	三重県伊勢庁 舎第 402 会議 室	みえのイクボス養成講座 「中小企業の経営課題を解決する～働き方改 革の本当の意味～」 講師：福井正樹さん（NPO 法人ファザーリング・ ジャパン中国顧問）	10 社 24 人

(3) 男女共同参画推進事業者等の表彰

- ・女性の活躍推進「きらり」賞
株式会社 ゴーリキ
- ・仕事と生活の調和実践賞
株式会社 奥野建設

・特別賞

浜郷地区まちづくり協議会

7 DV等被害者にかかる事務

(申出件数)

内 容	新 規	解 除	変 更	継 続
件 数	17 件	18 件	8 件	21 件

8 出会い・結婚支援事業

平成 27 年 10 月にオープンした「いせ出会い支援センター」を拠点に、結婚を望む本人や家族からの相談への対応、出会いの場となる婚活イベント等の情報提供、結婚に関する意識啓発に向けたセミナーを開催し、結婚を希望する人が結婚できる地域社会の実現を目指した。

(1) センターの事業内容

ア 業務委託

委 託 業 務 名	委 託 期 間	委 託 金 額	委 託 業 者
いせ出会い支援センター 運営にかかる業務委託	自 29. 4. 1 至 30. 3. 31	円 8,053,383	株式会社デルタスタジオ

イ 利用者件数

性別	来 所	電 話	メー ル	相 談	チ ラ シ	計
男性	535 件	90 件	105 件	83 件	927 件	/
女性	808	109	76	32		
計	1,343	199	181	115	927	2,765

ウ 婚活イベントの開催

開 催 日	会 場	内 容	参 加 人 数
29. 12. 13	三重県営サンアリー ナ レセプションル ーム	イベント名：「クリスマスパーティ」 第1部30～45歳、第2部20～35歳の2部制 自己紹介、フリータイム、投票など	人 39
30. 2. 4	三重県営サンアリー ナ レセプションル ーム	イベント名：「友活バレンタイン交流会」 20～40歳の市内及び定住自立圏域内市 町の事業所に勤めている方を対象に、自 己紹介、フリータイム、連絡先カードの 交換など	30

エ セミナー等の開催

結婚を希望する本人やその親に対しての結婚・婚活支援セミナーや独身女性向

けにスキルアップを目的にしたセミナー及びイベントを開催する団体向けに、イベント企画運営のノウハウを提供するセミナーを、センター内で開催した。

(親向け結婚支援セミナー：全3回開催)

開催日	参加人数
29. 6. 10	4人
30. 2. 3	1
30. 3. 1	2

(スキルアップセミナー：全11回)

開催日	内 容	参加人数
29. 5. 24	ヨガ	8人
29. 6. 28	アロマワックス作り	7
29. 7. 26	ヨガ	7
29. 8. 23	ヨガ	6
29. 9. 27	ハンドメイドアクセサリ作り	5
29. 10. 11	ヨガ	3
29. 11. 22	カラー診断	5
29. 12. 20	ヨガ	5
30. 1. 24	ヨガ	2
30. 2. 28	ヨガ	3
30. 3. 28	デコパージュ	4

(独身者・団体向けセミナー：全4回)

開催日	内 容	参加人数
29. 7. 12	コミュニケーションセミナー	2人
29. 8. 24	出会いイベント企画運営 応援団体セミナー	4
29. 11. 15		2
30. 1. 17		2

オフリーマガジン「いとし・いせ」の発行

いせ出会い支援センターをPRするため、結婚・出産・育児に関する情報を掲載した地域密着型の情報紙を毎月発行した。

発行部数：3,500部/月

(2) 企業の結婚支援促進事業

市内および定住自立圏域内市町に事業所を置く企業に、従業員の結婚を応援し、働きやすい職場環境づくりに取り組んでいただくよう、いせ若者応援ネットワーク「いせむすび」への登録を促進した。また、企業による結婚支援の重要性やメリットを理解して頂くためにセミナーを開催した。

ア 業務委託

委託業務名	委託期間	委託金額	委託業者
企業の結婚支援促進 業務委託	自 29. 4. 5 至 30. 3. 31	円 3,477,600	株式会社デルタスタジオ

イ 登録企業数 180 社

ウ セミナーの開催

開催日	会場	内容	参加者
29. 11. 29	伊勢商工会議所 大ホール	企業による従業員の結婚支援セミナー 講師：石阪 督規さん（埼玉大学教授）	18 社 21 人

(3) 伊勢市版婚姻届等の提供

少子化対策及びシティプロモーションの一環として、専用サイト上で地域の生活情報や観光情報の発信及び伊勢市独自の婚姻届・出生届をダウンロードできるようにし、結婚・出産のイメージアップを図った。

ア 業務委託

委託業務名	委託期間	委託金額	委託業者
伊勢市版婚姻・出生 届の提供及び情報 発信業務委託	自 29. 4. 1 至 30. 3. 31	円 100,000	株式会社リクルート ホールディングス

イ ダウンロード数

婚姻：1,778 件

出生： 129 件

○ 自治会関係

1 区長謝礼事業

市内 175 自治会の活動について、行政委員等その候補者推薦業務等、依頼事項に対する謝礼を交付した。

報償費総額 7,410,000 円

2 自治会活動補助事業

(1) 振興助成金事業

市内 68 の地区の円滑な運営と健全な自治会活動を推進するため助成金を交付した。

	自治会数	対象世帯数	振興助成金		
			平等割	世帯割	計
本庁管内	自治会 10	世帯 1,558	円 500,000	円 545,300	円 1,045,300
支所管内	29	10,370	1,450,000	3,629,500	5,079,500
小俣総合支所管内	29	8,062	1,450,000	2,821,700	4,271,700
計	68	19,990	3,400,000	6,996,500	10,396,500

(2) 元気なまちづくり協働事業

市と自治会が協働して地域社会の活性化を図るため、自治会が各地域において主体的に取り組む事業に対して、補助金を交付した。

補助金額の算定は、対象事業費に3分の2を乗じた額か、世帯数に応じて算出された額のいずれか低い額を限度額として交付した。

(対象事業)

ア 地域に根ざした伝統文化の継承事業	14件
イ 地域の特性を生かしたイベントなどの地域おこし事業	2件
ウ 地域内の清掃美化等の環境保全事業	30件
エ 補導や啓発、巡視活動等の青少年育成事業	5件
オ 訓練や啓発、巡視活動等の防犯・防災事業	9件
カ 少子高齢化社会対策やバリアフリー社会実現のための社会福祉事業	5件
キ 住民の交流を通じ、地域コミュニティを活性化するための地域交流事業	53件
ク その他市長が特に必要と認める事業	0件
計	118件

(対象自治会) 68自治会

交付申請・決定 3,210,000円 (55自治会)

交付確定 2,955,000円 (54自治会)

(3) 広報紙配布等事業

市の広報紙等の配布事業等を行う自治会に対して交付金を交付した。

対象自治会 68自治会

交付金額 39,222,000円

3 コミュニティ助成事業

(一財) 自治総合センターが、全国自治宝くじの社会貢献広報事業費として受け入れる受託事業収入を財源とした事業で、コミュニティ活動の健全育成を図り、コミュニティ組織である自治会等にコミュニティ助成事業補助金を交付した。

一般コミュニティ助成事業

自治会名	補助金額	事業名
城田団地自治会	円 1,500,000	自治会活動備品(複合機他)の整備
今一色区自治会	1,600,000	公民館のエアコン整備
計	3,100,000	

4 自治会コミュニティ放送設備整備補助事業

地域住民のコミュニティ活動の推進を図るため、地域活動の活性化及び地域内の情報伝達手段として自治会コミュニティ放送設備等を整備する自治会に対して補助金を交付した。

交付自治会数 12自治会(14件)

交付金額 1,933,000円

自治会名	補助金額	事業名
竹ヶ鼻町自治会	円 323,000	【追加】拡声放送設備整備事業
小木町	210,000	【追加】〃
上区自治会	368,000	【追加】〃
中村町自治会	435,000	【追加】〃
小計	1,336,000	4自治会
今一色自治会	33,000	【追加】戸別受信機放送設備整備事業
六軒屋自治会	69,000	【追加】〃
松倉自治会	34,000	【追加】〃
中小俣自治区	34,000	【追加】〃
新出自治会	83,000	【追加】〃
中小俣自治区	17,000	【追加】〃
湯田自治区	184,000	【追加】〃
いせ上野台自治会	81,000	【追加】〃
中小俣自治区	17,000	【追加】〃
小計	552,000	7自治会(9件)
明野第4自治区	45,000	【追加】メール配信設備整備事業
小計	45,000	1自治会
合計	1,933,000	12自治会(14件)

5 自治会集会所建設等事業補助金

地域のコミュニティ活動の場を確保することや自治会の負担軽減、集会所の長寿命化のため、自治会等が活動拠点として所有し、維持管理する集会所の改築及び修繕及びバリアフリー改修を行った自治会に対し補助金を交付した。

交付自治会数 7自治会

交付金額 6,822,000円

自治会名	補助金額	補助種別
藤里団地自治会	円 5,000,000	改築
小計	5,000,000	1自治会
出雲町自治会	656,000	修繕
常磐西世古町内会	263,000	〃
第一部自治区	243,000	〃
小計	1,162,000	3自治会
森区自治会	171,000	バリアフリー改修
一字田町	199,000	〃
東豊浜町西条自治会	290,000	〃
小計	660,000	3自治会
合計	6,822,000	7自治会

6 伊勢市総連合自治会事務

伊勢市総連合自治会は、各自治会による自治活動について連絡協議し、自治会相互の親和と市民の福祉増進に努めるとともに、市政の発展に寄与することを目的として活動している。事業活動を支援するため、会員である165自治会へ補助金を交付した。(補助金 1,430,000円)

7 認可地縁団体等関係

(1) 地方自治法第260条の2の規定に基づき、自治会等地縁による団体の法人格取得について、認可事務を行った。

平成29年度 地縁団体認可団体数2団体(累計認可団体数89団体)

(王中島区、地縁法人東新村元区)

(2) 地方自治法第260条の38の規定に基づき、認可地縁団体が所有する不動産に係る登記を特例で行うため、一定の要件を満たした場合について申請を受け付け、公告事務を行った。

平成29年度 公告申請団体数1団体(黒瀬町自治会：公告3件)

○ 地域自治推進関係

1 地域自治推進事業

(1) 「ふるさと未来づくり」の取り組み

平成27年度から本格稼働した「ふるさと未来づくり」制度を推進し、地域自治の実現を図った。市と地域とのパイプ役として各小学校区に地区担当職員を配置し、事業の運営に必要な情報提供や助言を行い、まちづくり協議会の活動を支援した。

<地区担当職員>

部課長級職員80人

(内訳：明倫、有緝、厚生、神社、浜郷、城田、二見、御菌学区は各4人、その他学区は各3人)

(2) 広報活動

「広報いせ」でシリーズ「わたしたちの地域だから、わたしたちでやりたいことがある」を隔月連載することにより市民への制度周知を図るとともに、ケーブルテレビ行政番組でも「ふるさと未来づくり」の概要を伝えた。

(3) 研修会、講演会等の開催

ア 「まちづくり研修会」の開催

地域の自主自立のまちづくりを推進するため、先進地事例の活動紹介及び意見交換を行った。

開催日	平成29年9月5日（火）
開催場所	伊勢市ハートプラザみその 多目的ホール
内 容	先進地事例の活動紹介及び意見交換
講 師	蒲生地区まちづくり協議会のみなさん
参加者	まちづくり協議会 41人

イ 「まちづくり講演会」の開催

「ふるさと未来づくり」に対する理解を更に深めるとともに市全体の気運の醸成を図るため、まちづくり講演会を開催した。

開催日	平成29年11月3日（金・祝）
開催場所	伊勢市生涯学習センター いせトピア多目的ホール
演 題	まちが輝く！地域づくりと人づくり
講 師	中川 幾郎さん（帝塚山大学名誉教授）
参加者	まちづくり協議会、一般市民等 約200人

ウ 「ふるさと未来づくり意見交換会」の開催

まちづくり協議会間の情報交換を行うため、意見交換会を開催した。

開催日	平成29年11月30日（木）
開催場所	御菌公民館 講堂
内 容	ふるさと未来づくり制度の施策説明、事例発表、意見交換
参加者	まちづくり協議会 42人

エ 「地区担当職員会議」の開催

「ふるさと未来づくり」の今後の展開を説明するため、新任の地区担当職員向け研修会を開催した。

開催日	平成29年6月16日（金）
開催場所	御菌総合支所 2-4会議室
内 容	ふるさと未来づくり制度の概要、ふるさと未来づくり資金等
講 師	市民交流課職員
参加者	職員 12人

オ 「職員向け研修会」の開催

「ふるさと未来づくり」に対する理解を更に深めるため、職員向け研修会を開催した。

開催日	平成30年2月1日（木）
開催場所	御薊公民館 講堂
演 題	ふるさと未来づくり制度について
講 師	市民交流課職員
参加者	職員 64人

(4) まちづくり協議会への財政支援

まちづくり協議会が実施する事務事業の財源として、ふるさと未来づくり資金を交付した。

また、まちづくり協議会が実施する「防災機能強化等への取組み事業」に対し、活動事業費（臨時特例分）を交付した。

交付金額：167,634,000円

- ・事務運営費・活動事業費（基本額）69,359,201円（23団体）
- ・臨時特例分5,073,633円（9団体、11件）
- ・一括交付金化事業93,201,166円（15団体）

2 市民活動補償制度

「ふるさと未来づくり」での活動を含め、市民が安心して活動を行えるよう、活動拠点が伊勢市にある市民団体等の公益活動中に起きた事故に対し、傷害事故や賠償責任事故を補償する制度を平成23年度より導入している。

名称	市民活動補償制度費用保険契約
保険期間	平成29年6月1日午後4時から平成30年6月1日午後4時まで
契約額	864,210円
適用件数	8件（傷害補償6件、賠償責任補償2件）

○ 合併調整関係

伊勢、二見、小俣、御薊の4つの地域審議会委員を対象に研修会を開催した。

開催日	平成30年1月26日（金）
開催場所	御薊公民館 講堂
研修内容	伊勢市の空家対策について
参加者	25人

戸 籍 住 民 課

○ 戸籍住民係

1 住民関係

(1) 住民基本台帳世帯数 (平成 30 年 3 月 31 日現在)

区 分	日本人	外国人	混合世帯	計
世 帯 数	54,204 世帯	505 世帯	204 世帯	54,913 世帯

(注) 伊勢市総数

(2) 住民基本台帳人口 (平成 30 年 3 月 31 日現在)

区 分	日本人	外国人	合 計	
人 口	男	59,787 人	333 人	60,120 人
	女	66,436	508	66,944
	計	126,223	841	127,064

(注) 伊勢市総数

(3) 住民異動状況 (平成 30 年 3 月 31 日現在)

区 分	件 数	
届 入	転 入	2,760 件
	転 出	3,163
	転 居	1,984
	世 帯 変 更	1,356
出 所 他	そ の 他	31
	計	13,572
職 権	出 生	805
	死 亡	1,581
	職 権 消 除	4
	修 正	1,888
計	13,572	

(注) 伊勢市総数

2 戸籍関係

(1) 戸籍数及び本籍人口 (平成 30 年 3 月 31 日現在)

戸 籍 数	61,508 戸籍
本 籍 人 口	147,670 人

(注) 伊勢市総数

(2) 届出事件の状況

事件の種類	届 出	他市町村からの送付	合 計
出 生	635 件	465 件	1,100 件
婚 姻	615	849	1,464
離 婚	145	125	270
死 亡 ・ 失 踪	1,326	308	1,634
養 子 縁 組	74	49	123
養 子 離 縁	20	7	27
国籍の得喪・留保	3	11	14

本籍表示の変更	205 件	260 件	465 件
上記以外で氏・名の変更が生じるもの	248	115	363
上記以外で身分に変更が生じるもの	22	13	35
訂正・追完	87	8	95
不受理申出	19	13	32
その他	1	3	4
計	3,400	2,226	5,626

(3) 戸籍事務処理状況

区 分	件 数
新 戸 籍 編 製	838 件
戸 籍 全 部 消 除	972
通 知 違 反	7
そ の 他	1
計	1,818

(4) 人口動態調査票作成状況

区 分	件 数
出 生	879 件
死 亡	1,632
死 産	29
婚 姻	684
離 婚	174
計	3,398

(注) 人口動態調査令(昭和21年勅令第447号)に基づき保健所へ提出。伊勢市総数

(5) 相続税法による死亡通知件数 1,634 件

(注) 相続税法(昭和25年法律第73号)第58条に基づき税務署へ通知。伊勢市総数

(6) 埋火葬許可状況

区 分	大 人	小 人	胎 児	計
埋 火 葬	1,196 件	3 件	25 件	1,224 件

(7) 民刑事項等処理状況

区 分	件 数
犯罪関係通知	234 件
民事関係通知	30
身元事項照会	2,937
計	3,201

(注) 伊勢市総数

(8) 伊勢市版出生届・婚姻届取扱件数 (注) 伊勢市総数

出生届 30 件 ・ 婚姻届 247 件

3 証明関係

(1) 住民票関係の交付等の状況

区 分		有 料	無 料	計	収 入 金 額	
住 民 票 の 写 し	本庁	28,838 件 (421) [133]	3,768 件	32,606 件 (421) [133]	5,767,600 円 (84,200) [26,600]	
	支所	10,170	8	10,178	2,034,000	
広域交付住民票の写し	本庁	42	0	42	8,400	
	支所	4	0	4	800	
戸籍の附票の写し	本庁	1,936 [9]	4,059	5,995 [9]	387,200 [1,800]	
	支所	544	0	544	108,800	
住民票記載事項証明	本庁	818	39	857	163,600	
	支所	284	7	291	56,800	
住民基本台帳閲覧	本庁	130	7	137	26,000	
	支所	0	0	0	0	
印鑑登録証明	本庁	15,212 (567) [116]	27	15,239 (567) [116]	3,042,400 (113,400) [23,200]	
	支所	8,527	26	8,553	1,705,400	
諸 証 明	身 分 証 明	本庁	736	0	736	147,200
		支所	209	0	209	41,800
	そ の 他	本庁	329	45	374	65,800
		支所	58	6	64	11,600
マイ ナンバー	通知カード	本庁	578	48	626	289,000
		支所	86	3	89	43,000
	個 人 番 号 カ ー ド	本庁	10	1,711	1,721	8,000
		支所	0	0	0	0
本 庁 計		48,629 (988) [258]	9,704	58,333 (988) [258]	9,905,200 (197,600) [51,600]	
支 所 計		19,882	50	19,932	4,002,200	
合 計		68,511 (988) [258]	9,754	78,265 (988) [258]	13,907,400 (197,600) [51,600]	

(注1) () は自動交付機、[] はコンビニ交付による内数

(注2) 住民基本台帳閲覧は、閲覧用紙1枚(20人まで抽出可能)で1件
住民基本台帳の閲覧団体数 34団体(うち公用 1団体)

(2) 戸籍謄抄本交付等の状況

区 分			件 数			収 入 金 額
			有 料	無 料	計	
戸 籍	全部事項 (謄 本)	本庁	10,320 件 〔26〕	3,168 件	13,488 件 〔26〕	4,644,000 円 〔11,700〕
		支所	2,890	0	2,890	1,300,500
	個人事項 (抄 本)	本庁	2,946 件 〔10〕	137 件	3,083 件 〔10〕	1,325,700 円 〔4,500〕
		支所	1,197	0	1,197	538,650
	一部事項	本庁	1	2	3	350
		支所	2	2	4	700
	記載事項	本庁	0	0	0	0
		支所	1	0	1	350
	計	本庁	13,267 〔36〕	3,307	16,574 〔36〕	5,970,050 〔16,200〕
		支所	4,090	2	4,092	1,840,200
		計	17,357	3,309	20,666	7,810,250
	除 籍 改製原戸籍	全部事項 (謄 本)	本庁	9,305	6,171	15,476
支所			2,264	0	2,264	1,698,000
個人事項 (抄 本)		本庁	52	24	76	39,000
		支所	15	0	15	11,250
一部事項		本庁	0	0	0	0
		支所	0	0	0	0
記載事項		本庁	0	0	0	0
		支所	0	0	0	0
計		本庁	9,357	6,195	15,552	7,017,750
		支所	2,279	0	2,279	1,709,250
		計	11,636	6,195	17,831	8,727,000
受 理 証 明 等		本庁	429 (6)	0	429 (6)	156,450 (8,400)
	支所	6	0	6	2,100	
届書記載事項証明	本庁	50	2	52	17,500	
	支所	4	0	4	1,400	
閱 覧	本庁	0	0	0	0	
	支所	0	0	0	0	
本 庁 計			23,103 (6) 〔36〕	9,504	32,607 (6) 〔36〕	13,161,750 (8,400) 〔16,200〕
支 所 計			6,379	2	6,381	3,552,950
合 計			29,482 (6) 〔36〕	9,506	38,988 (6) 〔36〕	16,714,700 (8,400) 〔16,200〕

(注) () は特別受理証明書、〔 〕 はコンビニ交付による内数

(3) 郵送請求処理件数

区 分	有 料	無 料	返 戻	取 扱 件 数
戸 籍 関 係 証 明	8,034 件	4,694 件	565 件	23,188 件
住 民 票 関 係 証 明	5,264	4,208		
諸証明関係(身分証明等)	411	12		
計	13,709	8,914		

(注) 「(1) 住民票関係の交付等の状況」及び「(2) 戸籍謄抄本交付等の状況」の内数

(4) 電子証明書の発行状況(個人番号カードへの記録分)

有 料	無 料	計	金 額
10 件	1,714 件	1,724 件	2,000 円

(5) コンビニ交付の開始

平成30年1月9日より証明書コンビニ交付サービスを開始した。

全国のコンビニエンスストア等店舗において各種証明書が取得できるようにすることで、市民の利便性とサービス向上を図った。

取得できる証明書	住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍全部(個人)事項証明書、戸籍の附票の写し、所得(課税)証明書、課税証明書、非課税証明書
利用可能店舗 (平成30年3月31日現在)	全国のセブンイレブン、ローソン、サークルKサンクス、ファミリーマート、Aコープ北東北、セイコーマート、イオンリテール、コミュニティ・ストア、エーコープ鹿児島、セーブオン、ミニストップ、ポプラ、イオン北海道、日本郵便、ウエルシア薬局、平和堂(マルチコピー機を設置している店舗に限る)

4 印鑑登録関係

(1) 印鑑登録数(平成30年3月31日現在) 86,332 件(伊勢市総数)

(2) 印鑑登録事務処理状況(伊勢市総数)

区 分	件 数	
増	登 録	4,079 件
	そ の 他	0
	計	4,079
減	廃 止	208
	亡 失	1,500
	死 亡	1,402
	転 出	1,314
	そ の 他	189
	計	4,613

5 支援措置関係

ドメスティック・バイオレンス等の被害者の保護のための措置として、住民基本台帳法による住民票の写し発行抑止及び戸籍の附票の写し発行抑止を行った。

住民基本台帳事務における支援措置者数(平成30年3月31日現在)

区 分	申 出 者	併せて支援を求める者	合 計
当市での申出受理	35 人	51 人	86 人
他市からの支援要請	51	42	93
計	86	93	179

6 特別永住者関係

特別永住者証明書の交付申請等を受け、法務省へ申請書を送付し、届いた証明書を申請者へ交付した。

特別永住者事務状況（伊勢市総数）

異 動 事 由	件 数	異 動 事 由	件 数
許 可	0 件	再 交 付（交 換 希 望）	0 件
証 交 付（法 施 行 前 未 取 得）	0	再 交 付（紛 失）	2
証 交 付（切 替）	7	有 効 期 間 更 新	16
再 交 付（汚 損 等）	0	記 載 事 項 変 更	0

7 住居表示事務

住居番号の申請を受け、実地調査を行うなどして住居番号を付定し、それぞれの申請者へ通知した。

住 居	事 務 所	事 業 所 等	計
71 件	1 件	19 件	91 件

8 自衛官募集事務

自衛隊三重地方協力本部伊勢地域事務所長から依頼を受け、新入隊、入校予定者の激励会、懸垂幕掲示、ホームページ、広報いせ、文字放送を通じての広報等、新規隊員募集の事務補助を行った。

なお、市内から 19 名（陸上自衛隊 17 名、海上自衛隊 1 名、航空自衛隊 1 名）の入隊者があり、防衛大学校に 2 名が入校した。

9 伊勢市戸籍住民関係窓口業務等委託

安定した市民サービスと民間事業者の技術と創意工夫を活用したより一層快適な市民サービスを提供するため、窓口業務等を民間事業者に委託した。

平成 29 年 5 月に窓口来庁者 930 名に対してアンケートを実施した。アンケート結果は、「窓口サービスの全体的な評価」について、「満足」又は「ほぼ満足」と回答した方が全体の 96.7%であり、来庁者の評価が良好であることが確認された。

	第 1 期	第 2 期	備考
契約締結日	平成26年 7月31日	平成29年 8月 9日	
履 行 期 間	平成27年 1月 1日～ 平成29年12月31日	平成30年 1月 1日～ 平成32年12月31日	3 年間
業 務 内 容	・証明書交付請求の受付 ・証明書の発行・交付 ・戸籍届出（出生・死亡・婚姻・離婚等） の受付・入力業務 ・住民異動届の受付・入力業務 等	同左	
契 約 金 額	159,192,000 円	161,640,000 円	税抜
選 定 方 法	プロポーザル方式	同左	
委 託 業 者	アール・オー・エス中部 株式会社 ↓平成 29 年 8 月 1 日付社名変更 株式会社エイジェック 名古屋オフィス (名古屋市中村区名駅一丁目 1 番 1 号)	株式会社エイジェック 名古屋オフィス (名古屋市中村区名駅 一丁目 1 番 1 号)	

○ 支所関係

1 住民関係・戸籍関係

(1) 住民票関係・戸籍謄抄本等の交付状況

区 分	神 社 支 所	大 湊 支 所	浜 郷 支 所	宮 本 支 所	豊 浜 支 所
戸 籍	936 件 545,550 円	420 件 222,500 円	1,129 件 631,650 円	663 件 352,550 円	822 件 471,000 円
住民基本台帳 関 係	1,440 288,000	779 155,600	2,192 438,000	1,324 264,800	1,267 252,600
印 鑑 証 明	945 188,800	588 117,400	1,544 308,600	1,027 205,400	1,221 240,200
諸 証 明	58 10,600	19 3,800	43 8,600	24 4,600	36 7,200
マイナンバー (通知カード)	9 4,500	11 5,000	9 4,500	20 10,000	5 2,000
計	3,388 1,037,450	1,817 504,300	4,917 1,391,350	3,058 837,350	3,351 973,000

区 分	北 浜 支 所	城 田 支 所	四 郷 支 所	沼 木 支 所	合 計
戸 籍	791 件 446,450 円	860 件 473,850 円	544 件 292,500 円	216 件 116,900 円	6,381 件 3,552,950 円
住民基本台帳 関 係	1,199 239,600	1,423 283,200	945 189,000	448 89,600	11,017 2,200,400
印 鑑 証 明	1,066 213,000	1,020 204,000	749 149,800	393 78,200	8,553 1,705,400
諸 証 明	26 5,200	35 7,000	19 3,800	13 2,600	273 53,400
マイナンバー (通知カード)	20 10,000	0 0	3 1,500	12 5,500	89 43,000
計	3,102 914,250	3,338 968,050	2,260 636,600	1,082 292,800	26,313 7,555,150

(注) 戸籍住民係中の3証明関係「(1)住民票関係の交付等の状況」及び「(2)戸籍謄抄本
交付等の状況」の内数

(2) その他の業務

市役所各課の業務、自治会との連絡調整業務、資源回収ステーション業務、図書業務その他の受付業務等の多岐に渡る業務を行い、市街地周辺の住民の利便性とサービス向上を図った。

人 権 政 策 課

○ 人権施策推進事業

1 伊勢市人権施策推進協議会

人権尊重の理念に関する市民相互の理解を深めるため、総合的かつ計画的な施策の推進を図ることを目的に関係官庁や市民団体等の代表で平成14年7月11日に設立した「伊勢市人権施策推進協議会」により、官民一体となって、様々な人権問題の解決に向けた取組みを実施している。

開催日	事業名	事業内容	備考
29. 5. 25	総会	平成28年度事業報告・決算報告、 平成29年度事業計画（案）・予算（案）の承認 場 所 市役所本館4-5会議室	
7. 3	第1回 人権セミナー	演 題「そっとやさしく」 講 師 長島 りょうがんさん （音楽工房「夢のかぼちゃ」店主） 場 所 ハートプラザみその	参加者47名
8. 1 ～12. 16	人権尊重啓発 ポスター・標語 募集事業	ポスター募集事業： 市内小中学校児童生徒から203点の応募 9月25日、10月11日ポスター審査 （市長賞9点、会長賞20点、奨励賞30点選出） 標語募集事業： 市内に在住または通勤通学する15歳以上の方 （中学生を除く）から6点の応募 委員の投票により入賞者を決定 （市長賞1点、会長賞1点選出） 作品展示 11月16日～11月21日 伊勢ララパーク 11月23日～11月28日 伊勢図書館 11月29日～12月13日 伊勢市防災センター 12月16日 人権講演会にて表彰	広報いせ 7. 15号 で公募 広報いせ 1. 15号 で優秀作品を掲 載
9. 21	平和イベント	国際平和デーイベント「平和へのねがい2017」 講 師 高瀬 聖子さん （一般社団法人 国連平和の鐘を守る会代表） コンサート 廣 めぐみさん、高橋 真珠さん 中瀬 あやさん	参加者180名
9. 22	第2回 人権セミナー	演 題「国連平和の鐘に込めた世界平和への願 い」 講 師 高瀬 聖子さん （一般社団法人 国連平和の鐘を守る会代表） 場 所 いせトピア	参加者32名

12. 4	街頭啓発	人権週間にあわせ、市民の人権尊重の意識高揚を目的に、伊勢市人権施策推進協議会委員による啓発冊子・物品の配布による啓発活動を実施 場 所 ぎゅーとら（藤里店・小俣店） イオン伊勢店 イオンタウン伊勢ララパーク みそのショッピングセンター バローミタス伊勢店 ホームセンターバローミタス伊勢店 プライスカット伊勢二見店	参加者35名 配布数1,050個
12. 16	人権講演会	講演会「マスオの人権考」＋群読「角筈にて」 講 師 増岡 弘さん（声優/俳優） 劇団東京ルネッサンス 場 所 ハートプラザみその	参加者210名
30. 2. 6	第3回 人権セミナー	演 題「セクシャルマイノリティの人権問題」 講 師 仲岡 しゅんさん （弁護士・北本法律事務所） 場 所 ハートプラザみその	参加者136名
3. 7	第4回 人権セミナー	演 題「差別につながる身元調査をなくすために」 講 師 原田 朋記さん、吉原 隆行さん （公益在団法人 反差別. 人権研究所みえ） 場 所 御薊公民館講堂	参加者20名
3. 29	委員会	平成29年度事業（見込）及び決算（見込）報告 平成30年度事業計画（案）及び予算（案） 次年度役員について、市職員意識調査について 場 所 御薊公民館講堂	
随 時	啓発冊子発行	人権ハンドブックNo.19「部落差別解消法」	1,000部作成
随 時	啓発用物品	ポケットティッシュ	5,000個作成
随 時	啓発用物品	啓発用手提げ袋	1,000袋作成

○ 人権啓発推進事業

市民一人ひとりが自らの人権意識を高め、すべての人々の人権が守られる心豊かな明るく住みよい地域社会を築いていくことを目的に、次のとおり啓発活動を推進した。

1 各種広報、啓発事業

広 報 啓 発 活 動	内 容	備 考
広報いせ人権シリーズ掲載	人権尊重の理念の普及とその理解を深めてもらうことを目的に、様々な人権問題をテーマに取り上げ、市民に人権について考える機会を提供した。	毎月15日号掲載 （1月を除く）

地域人権啓発紙の発行	市民館にて地域人権啓発紙を発行。(教育集会所、児童センターほか、課職員が編集に参加) 広報いせ人権シリーズ同様、様々な人権問題をテーマとした記事や施設の活動状況を掲載して、地域住民に人権について考える機会を提供した。	地域人権啓発紙 2紙 毎月発行
人権週間啓発パンフレット及び啓発物品の作成	人権週間をPRし、人権の大切さを広く市民に訴えるため、啓発パンフレットを作成し、人権尊重宣言都市啓発用物品と合わせて、街頭啓発、企業啓発、関係機関窓口、講演会等で配布した。	パンフレット 2,900枚 啓発物品(シャープペンシル) 3,500個
人権啓発パンフレット及び啓発物品の作成	市民の人権意識の高揚を図るため、平成29年度啓発活動重点目標を簡潔にまとめた啓発用パンフレット及び啓発物品を作成し、行事等で配布し啓発をした。	パンフレット 3,700枚 啓発物品(ウェットティッシュ) 1,000個
人権学習リーフレットの作成	「障がいのある人と人権～ともに生きるために～」、「高齢者と人権～いつまでも生き生きと暮らせる社会へ～」をテーマにしたリーフレットvol.25、26を発行した。	リーフレット 各 1,300部
差別をなくす強調月間での展示及び懸垂幕、のぼりの掲出	いせトピア及び各総合支所にて人権パネル展を開催。 小俣総合支所において懸垂幕を掲出。 市役所本庁舎、各総合支所にのぼり旗の掲出。	
企業啓発	差別をなくす強調月間にあわせ、市内企業を訪問し、啓発活動を実施 【実施企業】 キクカワエンタープライズ(株)、小橋電機(株)、(株)エテック、(株)鈴工、(株)三重近物通運、三交伊勢志摩交通(株)、ヤマナカフーズ(株)、(株)関谷食品、(株)伊勢萬、みえぎょれん販売(株)、(株)ダイム、社会福祉法人慈恵会、医療法人全心会伊勢慶友病院、医療法人社団さかえ会、介護老人保健施設山咲苑、(株)UL Japan、(株)利八屋	17社訪問 啓発物品、パンフレット配布数 540個

2 人権相談

市民を対象とした、様々な人権問題についての相談を随時受け付け、相談者自らが主体的に解決できるよう情報の提供や助言を行った。

3 人権擁護委員との連携

法務大臣から委嘱を受け、市内各地域で活動している17人の人権擁護委員と連携し人権啓発、人権相談を行った。

○ 隣保館運営事業

周辺地域を含めた地域社会全体の中で、福祉の向上や人権啓発、住民交流の拠点となる開かれたコミュニティセンターとして、生活上の各種相談や成人学習講座、福祉介護講座等の諸事業を実施するとともに、これらの活動を通じ日常生活に根ざした啓発活動を行い、住民の交流促進と福祉の向上に努めた。

1 事業費

	総事業費	補助基準額	財 源 内 訳	
			県補助金	市 費
隣 保 館 運 営 事 業 費	24,610,659 円	22,789,917 円	17,092,000 円	7,518,659 円

2 事業内容

事業区分		朝熊市民館		大久保市民館		黒瀬市民館		計	
		件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員
相 談 事 業	人 権 相 談	0	0	0	0	0	0	0	0
	職 業 相 談	1	1	1	1	0	0	2	2
	教 育 相 談	0	0	0	0	0	0	0	0
	福 祉 相 談	0	0	0	0	1	1	1	1
	生 活 相 談	2	2	0	0	6	6	8	8
	健 康 相 談	0	0	0	0	0	0	0	0
	そ の 他 相 談	1	1	0	0	1	1	2	2
講 座	福 祉 介 護 講 座	4	57	—	—	4	139	8	196
	成 人 学 習 講 座	8	196	—	—	5	198	13	394

3 成人学習講座詳細

館・回	項目	開催日	場 所	テーマ	講 師	参加人数
朝熊市民館・大久保市民館	第1回	29. 6. 30	楠部町公民館	STOP!子ども虐待守ろう!子どもの人権	伊勢市こども課 西川 善大さん	人 30
	第2回	29. 10. 14	緑が丘公民館	高齢者の地域での見守り	伊勢市社会福祉協議会 古川 誠さん	21
	第3回	29. 11. 22	朝熊ふれあい会館	人権トーク&ライブ~さわやかな風のふく街に~	元修道小学校長 西川 恒夫さん with からあげ	30
	第4回	29. 12. 7	鹿海町公民館	少年の非行と更生~再び歩き出すために~	保護司 松平 博通さん	28
	第5回	29. 12. 13	中村町公民館	男女共同参画ってなあに?~男性も女性も生きやすい社会に~	男女共同参画 れいんぼう伊勢	18
	第6回	30. 1. 19	朝熊市民館	「こころの時代~宗教~人生」植木均~父への旅~ある真宗僧の奇跡	(DVD視聴)	26
	第7回	30. 2. 19	一字田町公民館	認知症で要介護にならない脳トレ予防	伊勢市生活サポートセンターあゆみ 立花 昭宏さん	20
	第8回	30. 3. 10	ピースあいち他	館外研修	—	23

黒瀬市民館	第1回	29. 5. 11	黒瀬市民館	Money(まねー)してみよう、優しいお金の使い方！～世界を変える消費者になろう～	伊勢市教育委員会 学校教育課 主幹 西村 明美さん	人 37
	第2回	29. 7. 14	神社港公民館	憲政の神様・尾崎行雄の生き方	罌堂記念館館長 奥本 謙造さん	34
	第3回	29. 9. 5	黒瀬町公民館	あっ自分も思い当たる！ ～日本人の意識～	皇學館大学教授 深草 正博さん	62
	第4回	29. 10. 13	田尻町公民館	つまづいたのは何故？ 転んだのはどうして？～再び歩き出すために～	保護司 松平 博通さん	44
	第5回	30. 3. 17	滋賀県平和祈念館	館外研修	—	21

○ 非核平和推進事業

1 非核・平和第39回空襲展の開催

市民の空襲の記録を収集し、展示することによって、核兵器の廃絶及び軍備縮小並びに平和を広く訴えるため、空襲展実行委員会に参画し、8月12日・13日に、ハートプラザみそのにおいて、非核・平和第39回空襲展を開催した。

当課の企画として、平和祈念の折鶴作成コーナーを実施した。

主な催し物・・・映画上映、平和紙芝居、演劇、戦跡めぐり、すいとん汁試食コーナーなど

主な展示物・・・伊勢空襲の記録・写真、焼夷弾、戦時中の生活用品など

2 原爆被災ポスター展

原爆被災の実相を伝え、戦争や核兵器のない未来をつくることをめざして、広く市民に平和の尊さを訴える原爆被災ポスター展を7月26日から8月2日までいせトピアと二見総合支所で、8月3日から8月9日まで小俣総合支所と御菌総合支所で開催した。

3 非核平和都市宣言折り鶴

市内各市立中学校の生徒代表による広島平和記念式典への参加にあたって、各校生徒が平和への祈りを込めて作る千羽鶴用に、伊勢市非核平和都市宣言文を印刷した折り紙用紙を提供した。

(11校×1,200枚)

また、原爆被災ポスター展、非核・平和第39回空襲展の折り鶴コーナーでも活用したほか、市内図書館・いせトピアにも配布した。

4 日本非核宣言自治体協議会

日本非核宣言自治体協議会では、核廃絶を求める内容の決議を行った自治体が連携し、平和関連事業を実施、また、核実験を行った国に向けて抗議文書を送るなど、核兵器廃絶と恒久平和の実現に向けて様々な事業を行っている。当市においても、協議会の趣旨に賛同し、協議会に加盟、非核・平和推進に向け、活動に協力している。また、全体研修会において「伊勢市 平和の取り組み」を発表し各地域の会員に当市の平和行政をアピールした。

(非核宣言自治体総数 1,632 自治体、内、協議会会員自治体数 337 自治体：平成30年4月現在)

5 平和首長会議

平和首長会議は、世界の都市が緊密な連携を築くことによって、核兵器廃絶の市民意識を国際的な規模で喚起、核兵器廃絶を実現にむけ活動するほか、人類の共存を脅かす諸問題の解決、環境保護等、世界恒久平和の実現に寄与することを目的とし、この趣旨に賛同する都市（自治体）で構成された機構であり、当市も趣旨に賛同し加盟し平和行政を進めている。

（平和首長会議加盟総数 世界 163 か国・地域 7,578 都市（内、日本国内 1,723 都市）：平成 30 年 5 月現在）

6 「国際平和デー」の周知

- ・国際平和デー「鐘の音とともに祈りを」

国連が定めた『国際平和デー』に合わせて、9 月 21 日正午から、「鐘の音とともに祈りを」と題して市内の寺院や教会等の協力を得て鐘を鳴らし、平和を感謝し、恒久平和を祈念する取り組みを実施した。（寺院や教会等 104 か所に参加依頼）

- ・国際平和デーイベント「平和へのねがい 2017～講演と音楽の夕べ～」

国際平和デーの周知に向けた取り組みとして、国連平和の鐘を守る会代表高瀬聖子さんによる講演と、地元で活躍するソプラノ歌手・廣めぐみさん、バイオリン・高橋真珠さん、ピアノ・中瀬あやさんによる平和コンサートを行った。（参加者 180 名）

- ・平和推進にかかる絵本の配付

国際平和デーの周知と平和を祈念する取り組みの啓発のため、「国連平和の鐘を守る会」が発行する絵本「コインでつなぐ平和の鐘」を、市内の小・中学校 35 校（私立含む）に寄贈した。

○ 人権学習事業

市民が人権尊重の精神をもとに人権問題を正しく認識し、自らの課題として解決できるよう啓発活動の積極的な推進に努めた。

1 小学校区別人権・同和教育推進連絡協議会事業

市内各小学校区において、自治会長（区長）、民生委員、人権擁護委員、学校長などが委員となり人権啓発活動を行なっている 22 の人権・同和教育推進連絡協議会へ、委託金を支払い、活動の支援を行なった。

各協議会は、講演会、人権展、啓発紙の発行等を行い、3 月には全協議会代表者が参加する情報交換会を行なった。

2 第 12 回伊勢市人権を考える市民の集い

人権問題の正しい理解と認識を広めるため、市民、教職員及び市職員を対象に、平成 29 年 8 月 1 日、杉山文野さん（渋谷区男女平等・多様性社会推進会議委員／フェンシング元女子日本代表）を講師に招き、『クラスにひとりはずいいる!?! L G B T の子どもたち～誰もが抱えるそれぞれの「生きづらさ」を乗り越えるヒント～』をテーマに、いせトピアで講演会を開催した。（参加者 310 人）

3 伊勢市人権講演会

人権に対する正しい理解と認識を広めるため、平成 29 年 12 月 16 日、増岡弘さん（声優・俳優）と劇団東京ルネッサンスを講師に招き、講演「マスオの人権問題考～ことばはプレゼント～」と群読『角筈にて』をハートプラザみそのにて行った。（参加者 210 人）

4 「第 3 回 ISE HUMANRIGHTS MOVIE JAM（いせ人権映画祭）」

人権をテーマとした自主制作映像作品を全国の幅広い年齢層から募集し上映することにより映像制作・鑑賞を通して人権に対する意識の啓発と人権感覚の向上をはかることを目的に映画祭を開催。コメンテーターに瀬木直貴監督を招き、9 作品の上映を、いせトピアにて行った。（上映会参加者 230 人）

上映作品は下記のとおり。

作 品 名	団 体 名	
悪役志願	桜丘高等学校放送部	伊賀市
あの頃、さがして	くらしき五感を愉しむ会	岡山県
ココカラの島	不易流行実践大学校	広島県
伝心不能	三重県立伊勢高等学校放送部	伊勢市
同性物語	菰野ふるさと映画塾	菰野町
トライトーン	三重県立明野高等学校放送部	伊勢市
蛍	第 1 回 井手町映画学校	京都府
みえレインボーフェスタ 2017	一般社団法人 ELLY ・高田高等学校放送部	伊勢市 津市
みんなの掲示板	三重県立松阪高等学校放送部	松阪市

5 人権啓発講座

市内の小中学校の保護者及び一般を対象とし、人権に対する知識理解や人権感覚を身に付けた人材を育成することにより、その受講者が家庭はもとより各小中学校や各地域の人権推進の担い手となり、住みよい社会を築くことを目的として 4 回の講座を開催した。（延べ参加者 169 人）各回の内容は下記のとおり。

	開催日	場 所	テーマ	講 師	参加人数
第 1 回	29. 8. 20	御菌公民館	子どもの人権	大阪成蹊大学教授 園田 雅春さん	人 50
第 2 回	29. 11. 12	御菌公民館	性的マイノリティの人権	北本法律事務所弁護士 仲岡 しゅんさん	41
第 3 回	29. 12. 10	御菌公民館	障がいのある人の人権	NPO ステップワン理事 宮崎 吉博さん	38
第 4 回	30. 1. 14	御菌公民館	同和問題	名張市人権・男女共同参画推進室人権教育主事 田中 弓子さん	40

6 職員人権研修

職員として身に付けておきたい、人権問題に関する研修会を開催した。

対象	開催日	場 所	テーマ	講 師	参加 人数
保育士	29. 12. 20 30. 1. 9	御菌公民館	LGBTと保育現場 「先生たちにできること」	一般社団法人 ELLY代表 山口 颯一さん	人 55
職員	30. 2. 6	ハートプラ ザみその	セクシュアルマイノリテ ィの人権課題 「実体験と差別の所在」	北本法律事務所弁護士 仲岡 しゅんさん	107

環 境 課

○ 環境全般

1 第2期伊勢市環境基本計画

平成26年度に策定した環境に関わる各計画の最上位計画にあたる「第2期伊勢市環境基本計画」について、伊勢市環境審議会に進捗管理を諮問し審議を行った。

【環境審議会】

伊勢市環境基本条例第11条の規定に基づき設置

構 成：公共的団体等に所属する者でその団体の推薦を得た者8人
学識経験を有する者4人
その他市長が必要と認める者3人

会 長：中松 豊 氏（皇學館大学教育学部教授）

副会長：山村 直紀 氏（三重大学工学研究科准教授）

【開催実績】

第1回

開催日：平成29年8月21日

議事等：第2期環境基本計画の概要、施策の取組状況説明

第2回

開催日：平成30年2月6日

議事等：重点事業の進捗状況について審議

2 環境管理システムの推進

平成20年度からISO14001の規格によらない環境管理システムを運用している。

本庁及び各総合支所にて取り組む事務活動について、事務用紙使用量、可燃ごみ排出量、電力使用量、公用車燃料使用量（ガソリン・軽油）の4項目の実績把握を行うとともに、クールビズ等の取組及び意識啓発等を行った。

実績については、本庁舎改修に伴う事務所移転による対象部署や業務環境の変化等の影響もあり、前年度と比較して、可燃ごみ排出量、電力使用量は減少し、事務用紙使用量、公用車燃料使用量（ガソリン・軽油）は増加となった。

3 環境啓発・環境教育の推進

（1）環境フェア開催事業

市民の皆様へ、体験などを通して、環境の状況や取り組み等を知っていただき、環境意識の向上や市の環境施策への理解と協力を得ることを目的とし、平成29年10月9日（月）に、三重県営サンアリーナ（メインアリーナ、サブアリーナ及び屋外広場）において、伊勢市環境フェアを開催した。

開催に当たっては、環境活動に取り組む事業所や団体、大学等の出展協力を得て、多様な体験等の企画を実施し、約 15,000 人に来場いただいた。

なお、2017 福祉フェスティバル事業実行委員会（勤労者地域づくり等参画支援事業実行委員会）主催の「2017 福祉フェスティバル 勤労者ゆとり T・I・M・E you・ゆう・遊 i n g」と同時開催。

(2) 伊勢市環境会議実施事業

市の環境保全・環境意識の向上を目指し、各会員が知恵を出し合い、協力して取り組みを行った。

実施日	事業名	概要	備考
29. 4. 8	ごみゼロ早朝清掃	市民一人ひとりがごみ問題に対する意識を高めるきっかけづくりとして清掃活動を実施した。	お伊勢さん菓子博開催に伴うクリーンアップ活動に合わせて実施。
29. 5. 18 29. 6. 3 29. 6. 9 29. 6. 15 29. 6. 29 29. 7. 10 29. 7. 20 29. 7. 21 29. 9. 6 29. 9. 8 29. 11. 29	環境出前講座 (園児対象)	保育所・幼稚園の園児が楽しみながら環境について興味を持ってもらえるよう、会員が紙芝居を用いて、出前講座を実施した。	参加者 神社幼稚園 14人 あけの保育園 42人 えがお保育園 66人 暁の星こども園 58人 有滝保育園 12人 有緝幼稚園 108人 保育所あけぼの園 29人 五峰保育園 22人 浜郷保育所 70人 船江保育園 50人 佐八保育園 43人
29. 5. 28	勢田川と親しむ事業 (勢田川ウォッチング)	勢田川を身近に感じてもらうよう、親子等を対象に、勢田川の名所や動植物等の観察会を実施した。	参加者 22人
29. 6. 2 29. 9. 5	環境出前講座 (小学生対象)	子どもたちが環境について学び、家庭での取組につなげることができるよう、体験講座や啓発講座を実施した。 テーマ アクリルたわしづくり 水生生物による水質調査	参加者 明倫小 4年生 57人 明倫小 4年生 57人
29. 6. 5	身近な水環境の全国一斉調査	水環境の全国一斉調査の一環として、勢田川の水質調査を行った。	検査結果 COD 8mg/L
29. 6. 23	勢田川浄化実験事業 (EM団子による水質浄化実験)	河川浄化を目的に、微生物資材をヘドロに投入し、ヘドロ浄化効果を経過観察した。	参加者 有緝小 3年生 90人
29. 7. 2	勢田川七夕大そうじ	勢田川の浄化と河川美化の意識啓発を目的に清掃活動を実施した。	参加者 約 2,900人
29. 8. 6	子どもわくわく体験フェスティバル	特定非営利法人まなびの広場が主催するイベントにて、ごみ分別クイズを実施した。	参加者 約 1,000人

29. 8. 25	水生生物による水質調査	水環境に親しむきっかけづくり、水質浄化意識の啓発を目的に、小学校児童向けに水生生物の生息状況による水質調査を実施した。	参加者 市内小学校児童 13人
29. 9. 1 ～ 9. 29	百五銀行ロビー展示	市民に環境会議の取組を広く知っていただくため、百五銀行伊勢支店のロビーに活動写真等を展示した。	
29. 9. 5	勢田川浄化実験事業 (二枚貝による水質浄化実験)	二枚貝の持つ水質浄化能力を利用した勢田川の水質浄化実験を行った。小学生に二枚貝の生態を知ってもらうために出前講座を実施し、しじみを勢田川へ放流した。	参加者 明倫小4年生 57人
29. 10. 9	環境フェア	環境意識の啓発のため、三重県営サンアリーナにおいてイベントを開催した。	来場者 約15,000人
29. 10. 9	ごみゼロポスターコンクール	家庭でごみ問題について話し合うきっかけづくりとして、市内小中学校へ「3Rの推進」「ポイ捨て・不法投棄の防止」などをテーマに作品募集を行ない、環境フェアにおいて受賞者への表彰式を開催した。	応募作品 850点 (受賞者66人)
29. 12. 10	みえ環境フェア	三重県地球温暖化防止活動推進センター主催によりメッセウイング・みえで開催された、みえ環境フェアに参画し、アクリルたわしづくり体験と活動写真展示ブースを出展した。	来場者 約5,000人
30. 3. 26	エコ・クッキング教室	東邦ガス株式会社の協力により、生ごみを出さない、または、汚れた生活排水を流さない調理方法について実習した。	参加者 24人

(3) 皇學館大学との連携事業

皇學館大学と市は、文化・教育・学術等の分野で相互に機能向上を図るとともに、地域の活性化と人材の育成を図ることを目的に、平成20年7月11日に連携協定を締結している。

環境分野における連携として、市内小学校において昆虫を活用した環境に関する理科の出前講座を実施し、また、平成29年10月9日に三重県営サンアリーナで開催した「伊勢市環境フェア」において、昆虫を活用したブースを出展いただいた。平成30年2月3日には、今年度の連携と平成30年度以降の連携についての意見交換会を行った。

・出前講座実績

実施日	小学校名	学年・人数
29. 5. 22	佐八	3年15人
29. 5. 29	進修	1年23人、2年20人
29. 6. 26	上野	3年11人、4年4人
29. 10. 21	東大淀	1年15人、3年17人、6年21人
29. 10. 27	豊浜西	6年24人

(4) 事業者における環境教育

事業者においては、事業者自らの企画による環境教育等が社会貢献活動として実践されており、各事業者が有する人材・学習教材となりうる資材の提供等の協力をいただくことで学習環境の充実を図るため、環境教育に関する協定書を締結、市内の小学校向けに環境出前講座等を実施していただくなどご協力をいただいた。

【協定年月日及び協定先】

平成23年9月30日 中部電力株式会社

平成27年1月26日 株式会社第三銀行

平成28年1月22日 横浜ゴム株式会社三重工場

・環境出前講座等実績

実施主体	実施日	小学校名	学年・人数	概要
中部電力株式会社	30. 2. 2	佐八	5年9人	電気に関する講座
株式会社第三銀行	29. 7. 11	城田	4年70人	キッズISO14000説明
	29. 11. 17	城田	4年70人	キッズISO14000結果
横浜ゴム株式会社三重工場	29. 10. 18	御菌	3年69人	電気バス学習 工場見学、植樹体験
	29. 10. 20	大湊	4年21人	大湊海岸に関する講座
	29. 10. 26	大湊	5年9人	電気バス学習 工場見学、植樹体験
	29. 11. 14	明倫	4年60人	電気バス学習 工場見学、植樹体験
	29. 11. 15	早修	4年12人、5年21人	電気バス学習 工場見学、植樹体験

○ 地球温暖化防止対策の推進

1 太陽光発電普及促進事業

地球温暖化防止対策として、比較的取り組みやすい太陽光発電システム設備の設置を促進するため、設置に対する補助（6万円/件）を行った。

なお、平成29年度中に事業着手したが、年度内に事業完了しなかった26件については、繰越対応とした。

	補助額	交付件数	交付額合計
平成28年度からの繰越分	円/件 60,000	件 26	円 1,560,000
平成29年度事業	60,000	66	3,960,000
計	—	92	5,520,000

	補助額	交付件数	交付額合計
平成30年度への繰越分	円/件 60,000	件 26	円 1,560,000

2 エコドライブ講習会の実施

地球温暖化防止対策として、自動車から排出される二酸化炭素を減らすことが課題であり、そのためには、クリーンエネルギー自動車の普及とともに、自動車の使用方法の対策も重要であることから、燃費向上や安全運転の効果が期待できるエコドライブの普及を図るため、JAFと連携し講習会を開催した。

対 象	開 催 日	受講者数
市民対象	平成29年 7月 5日 (水)	15 人
	平成29年 9月20日 (水)	14 人
職員対象	平成29年 8月23日 (水)	15 人
	平成30年 1月24日 (水)	12 人
	平成30年 2月 7日 (水)	15 人

3 電気自動車等を活用した伊勢市低炭素社会創造協議会の取り組み

多くの化石燃料に依存した暮らしから、省エネルギーでかつ豊かな低炭素社会での暮らしに移行していくため、電気自動車等を活用した移動手段の新たな使い方を検討し、取組を進めることで「低炭素で豊かに暮らせる伊勢」を創造することを目的として、三重県が取り組む「地域と共に創る電気自動車等を活用した低炭素社会モデル事業」の採択を受け、平成 24 年 8 月に、三重県と共同で「電気自動車等を活用した伊勢市低炭素社会創造協議会」（以下「協議会」という。）を設立した。

協議会は、行政、事業者、市民等の様々な参画者が将来像や目標を共有しながら、参画者自らが主体となり、市民だけでなく、伊勢市を訪れる人にとっても便利に移動できる低炭素社会の実現に向けて取り組むこととしている。その低炭素社会の創造に向けた取組を着実に進めていくため、平成 25 年 3 月に行動計画「おかげさま Action!」を策定、啓発活動等に取り組んでいる。

(1) 啓発活動

市内等で開催されるイベントにて、電気自動車等の展示（給電デモ等）及び試乗会を行い、電気自動車等の普及啓発を行った。

実施日	事業名	概要	備考
29. 4. 29	厚生ふれあいまつり	電気自動車の展示・給電デモ	
29. 5. 3	YOKOHAMA ふれ愛まつり	電気自動車の展示・給電デモ	
29. 5. 20 29. 5. 21	伊勢楽市	電気自動車の 展示・給電デモ・試乗会	来場者 29. 5. 20 約50,000人 29. 5. 21 約40,000人
29. 6. 21	高柳商店街夜店（環境の日）	電気自動車の展示・給電デモ	
29. 9. 2	鳥羽マリンフェスタ	電気自動車の展示・給電デモ	
29. 10. 7	伊勢まつり	電気バスの展示	
29. 10. 9	伊勢市環境フェア	電気自動車及び電気バスの 展示・給電デモ・試乗会	来場者約 15,000 人
29. 12. 10	みえ環境フェア	電気自動車の展示・給電デモ	来場者約 5,000 人

(2) 啓発チラシの発行

電気自動車等のメリット及び楽しい使い方等の情報を分かりやすく発信する為、協議会参加者である自動車メーカーの協力を得て、啓発チラシ「たのしんでECO」を発行した。

(3) 電気バスを活用した環境教育

三重交通株式会社が平成26年3月に導入した電気バス（株式会社ポケモンの協力を得て、車両内外にポケモンのキャラクターのラッピングを施し「ポケモン電気バス」として運行）を活用し、電気バスの環境性能の紹介や地球温暖化防止について学習する講座を開催した。開催に当たっては、横浜ゴム株式会社三重工場が行なう環境講座（工場見学・植樹体験）と連携して開催。

○ 生活排水対策の推進

1 合併処理浄化槽設置の促進

(1) 浄化槽設置整備事業補助金

生活排水対策として合併処理浄化槽の設置促進を目的に設置者に対し補助を行った。

【下水道認可区域外】

新築及び単独浄化槽・くみ取りからの転換補助の内訳

区分	新築			単独処理浄化槽・くみ取りからの転換			計	
	補助金 限度額	交付 基数	交付 額計	補助金 限度額	交付 基数	交付 額計	交付 基数	交付 額計
5	千円/件 168	基 101	千円 16,968	千円/件 332	基 30	千円 9,960	基 131	千円 26,928
7	207	46	9,522	414	33	13,662	79	23,184
10-50	276	3	828	548	3	1,644	6	2,472
計	—	150	27,318	—	66	25,266	216	52,584

単独処理浄化槽・くみ取りからの転換にかかる配管、単独処理浄化槽撤去費用補助の内訳

区分	単独浄化槽・くみ取りからの転換		
	補助金限度額	交付基数	交付額計
配管	千円/件 60	件 66	千円 3,960
単独処理浄化槽の撤去	90	28	2,520
計	—	94	6,480

※単独処理浄化槽の撤去28件は配管と併せて補助

【下水道認可区域内】

浄化槽設置補助の内訳

区分	新築及び単独浄化槽・くみ取りからの転換		
	補助金限度額	交付基数	交付額計
5	千円/件 110	基 24	千円 2,640
7	138	2	276
10	182	1	182
計	—	27	3,098

※下水道認可区域内においては、配管、単独浄化槽の撤去費用及び11人槽以上の浄化槽は補助対象外

(2) 共同汚水処理施設修繕工事補助金

共同汚水処理施設の適正な維持管理を推進するため、住民で組織する団体が管理し、設置後7年以上が経過した共同汚水処理施設の修繕工事（当該修繕工事に要する経費が1件当たり30万円以上）を実施した管理団体に対し補助を行った。

補助件数：2件 補助金額：871,200円

○ 公害対策事業

1 大気汚染調査

市内の大気汚染の状態を把握するため、三重県環境生活部が厚生中学校に設置（昭和63年3月から測定開始）している大気汚染常時監視測定局による二酸化硫黄、PM2.5、浮遊粒子状物質、オキシダント、窒素酸化物、炭化水素等の調査結果について、市ホームページにて公表した。また、PM2.5の注意喚起情報が三重県より発信された際は市ホームページにて注意喚起を行った。

2 水質調査

河川や海域の水質汚濁状態を把握し、公害防止、環境保全を図るため、河川・幹線排水路の水質を調査した。

(1) 水質調査実施状況

区分	調査対象	地点数	項目数	回数
河川	8	15	13	4～12
幹線排水路	5	7	13	4～12
海域	1	1	8	4

(2) 主な河川、幹線排水路のBOD経年変化

年度	25	26	27	28	29	環境基準
姫之橋（勢田川）	mg/l 3.8	mg/l 5.1	mg/l 3.0	mg/l 2.7	mg/l 3.9	5 mg/l以下
北新橋（勢田川）	6.6	6.4	4.6	5.0	4.5	5 mg/l以下
勢田大橋（勢田川）	6.8	7.4	3.3	3.9	5.0	5 mg/l以下
桧尻川合流点（勢田川）	6.9	6.0	3.2	3.7	4.9	5 mg/l以下
一色大橋（勢田川）	2.7	4.8	2.8	2.9	2.9	5 mg/l以下
中部幹線（勢田川）	6.0	4.4	5.4	6.9	5.6	—
南部幹線（勢田川）	2.4	4.3	2.8	2.1	3.4	—
有滝橋（江川）	1.2	1.3	1.5	4.7	1.2	—
大堀川橋（大堀川）	2.2	4.7	1.7	2.5	1.2	—
野垣外橋（汁谷川）	1.3	1.7	1.8	1.0	1.3	—
鮫川	7.8	2.0	2.7	1.7	0.8	—

※数値は75%値

(3) 海域COD経年変化

年 度	25	26	27	28	29	環境基準
宇治山田港	0.5 未満	0.8	0.5 未満	1.2	0.5 未満	3 mg/l以下

※数値は75%値

3 騒音・振動調査

(1) 環境騒音・道路交通振動調査

市内における騒音及び振動の状態を把握するため、環境騒音・道路交通振動について測定した。

【調査実施状況】

区 分	地 点 数	基準適合地点
一般環境騒音	3	3/3
道路交通騒音	3	3/3
道路交通振動	1	1/1

(2) 自動車騒音常時監視に係る騒音調査及び面的評価業務

騒音規制法第18条第1項の規定に基づき、市内の主要幹線道路を対象に、自動車騒音の常時監視を実施した。

また、道路環境の各種施策へ反映を図る資料として、環境省環境管理状況局自動車騒音環境対策課が配布する「面的評価支援システム」を用いて、評価対象路線における環境基準の達成状況を調査した。

【騒音調査結果】

路 線 名	測定地点	時間区分	測 定 値	基 準 値
伊勢自動車道	伊勢市勢田町	昼間	64 dB	70 dB
		夜間	54	65
一般国道23号	伊勢市小木町	昼間	67	70
		夜間	60	65
鳥羽松阪線	伊勢市常磐2丁目	昼間	67	70
		夜間	58	65

4 悪臭

市内特定地点における悪臭の状態を把握するため、1か所4地点各2回臭気測定を実施した。

5 公害苦情等処理状況

区 分		26年度	27年度	28年度	29年度
典型 7 公害	大気汚染	15 件	17 件	49 件	54 件
	水質汚濁	1	4	3	0
	土壌汚染	1	0	0	0
	騒音	7	3	3	2
	振動	0	0	0	0
	地盤沈下	0	0	0	0
	悪臭	4	8	1	2
	小計	28	32	56	58

その他	草刈り・樹木剪定	件 95	件 121	件 138	件 129
	害虫	-	-	-	26
	動物（犬猫等）	37	34	51	17
	その他 （うち空き家）	40 (29)	36 (22)	31 (15)	65 (0)
	小計	172	191	220	237
合計		200	223	276	295

6 公害関係法令に基づく各種届出受理業務

生活環境を保全し、市民生活の健康保護のため、公害関係法令に基づき、事業活動を行う工場及び事業場、また特定建設作業に対する届出受理業務を行った。

【特定施設に関する設置等の届出】

区 分		設置届	廃止届
		件	件
大気汚染防止法		4	3
水質汚濁防止法		4	12
騒音規制法		2	1
振動規制法		0	0
三重県生活環境 の保全に関する 条例関係	ばい煙	0	1
	粉じん	1	0
	騒音	2	0
	振動	0	0
	揚水設備	0	0
ダイオキシン類対策特別措置法		0	0
計		13	17

【特定建設作業に関する届出】

区 分	法 律	条 例
	件	件
騒音	23	9
振動	14	6
計	37	15

○ 墓地関係

1 市営墓地管理

市民の公衆衛生の向上その他公共の福祉の増進に資するため、市営大世古墓地、大湊墓地及び小俣若山墓地の管理を行った。

(1) 管理区画数

区 分	3.3 m ² 以下	3.3 m ² 超 6.6 m ² 以下	6.6 m ² 超 9.9 m ² 以下	9.9 m ² 超	計
	区画	区画	区画	区画	区画
大世古墓地	949	490	88	98	1,625
大湊墓地	818	85	6	3	912

小俣若山墓地	区画 1,202	区画 0	区画 0	区画 0	区画 1,202
計	2,969	575	94	101	3,739

※平成 30 年 3 月末時点

(2) 新規貸付区画

墓 地 名	平成 29 年度 貸付区画数	残 区 画 数
大世古墓地	3	37
大湊墓地	4	47
小俣若山墓地	6	2
計	13	86

(3) 業務委託

施行場所	委 託 名	委 託 概 要	金 額	着 手	完 了
伊 勢 市 営 大世古墓地	伊勢市営墓地管理業務委託	墓地管理	円 168,480	29. 4. 1	30. 3. 31
伊 勢 市 営 大湊 墓 地	伊勢市営墓地管理業務委託	墓地管理	453,600	29. 4. 1	30. 3. 31
伊 勢 市 営 小俣若山墓地 及び納骨堂	伊勢市営小俣若山墓地管理業務委託	墓地管理	434,363	29. 4. 1	30. 3. 31
伊 勢 市 役 所 環 境 課	墓地管理システム運用保守業務委託	墓地管理システムの運用保守	466,560	29. 4. 1	30. 3. 31
大世古3丁目 地 内	市営大世古墓地除草業務委託	空き区画及び通路の除草	810,000	29. 4. 10	30. 3. 31
計	5 件	—	2,333,003	—	—

(4) 賃借業務

賃 借 名	賃 借 期 間	賃 借 料
墓地駐車場賃借料 (小俣若山墓地)	29. 4. 1~30. 3. 31	240,000

2 墓地整備事業補助金

共同墓地の環境改善を図るため、自治会等が行った墓地整備事業に対し費用の一部を補助した

区 分	事 業 費	補助金額	備 考
湯田墓地	円 4,400,000	円 1,466,000	通路・駐車場の舗装
上地町墓地	927,180	309,000	墓地内階段手摺補修、焼香場屋根修繕
朝熊稲葉岡墓地	60,765	20,000	フェンスの設置
天神・小町塚墓地	2,129,760	709,000	通路改修、階段等手摺設置工事
一誉坊墓地	4,860,000	1,620,000	樹木の伐採、参道補修
明野共同墓地	106,600	35,000	通路整備
北山墓地・南山墓地	137,160	45,000	焼香場屋根修繕
北山墓地・南山墓地	196,560	65,000	焼香場外壁修繕 (台風 21 号)
西之坂墓地	64,800	21,000	土砂の撤去 (台風 21 号)

西之坂墓地	円 291,600	円 97,000	法面の補修（台風 21 号）
計	13,174,425	4,387,000	—

○ 衛生・美化関係

1 防疫

生活環境の保全を目的に、公共施設等において動力 2 兼機による煙霧消毒を実施し、また、希望する市民にハチ防護服の貸出を行った。

区 分	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度
煙霧消毒	件 8	件 7	件 4	件 9
ハチ防護服貸出	74	46	58	46

2 公衆浴場に対する支援

市内にある公衆浴場の確保を図るため、伊勢公衆浴場組合への支援策として、公衆浴場 5 か所に集客用の物品支援を行った。

実施日	物品名	数 量	金 額
29. 4. 10	トイレットペーパー ボックスティッシュ	432 個 144 箱	円 68,256
29. 4. 20	トイレットペーパー ボックスティッシュ	432 個 144 箱	68,256
29. 4. 30	トイレットペーパー ボックスティッシュ	432 個 164 箱	73,356
計	—	—	209,868

○ 犬・猫関係

1 狂犬病予防事務

狂犬病予防法に基づき畜犬登録及び狂犬病予防注射を実施し、飼い犬情報の管理を行った。

区 分	27 年度	28 年度	29 年度
登録数	頭 8,117	頭 8,061	頭 7,484
新規登録件数	504	459	427
予防注射接種数	5,220	4,775	5,090
獣医師等	4,005	3,682	4,096
集合注射	1,215	1,093	994

※平成 30 年 3 月末時点

2 犬及び猫の不妊手術費等の助成

犬や猫の適正飼育を図るため、不妊手術費等の一部助成を行った。

区 分	助成額/件	27 年度		28 年度		29 年度	
		件数	交付金額	件数	交付金額	件数	交付金額
犬	円	件	円	件	円	件	円
	3,000	93	279,000	71	213,000	86	258,000
	4,000	99	396,000	88	352,000	96	384,000

猫	雄	円 2,500	件 214	円 535,000	件 204	円 510,000	件 218	円 545,000
	雌	円 3,500	件 301	円 1,053,500	件 287	円 1,004,500	件 307	円 1,074,500
計			707	2,263,500	650	2,079,500	707	2,261,500

○ 水道法関係

水道法に基づく専用水道、簡易専用水道に関する届出、三重県小規模水道条例に基づく水道の届出について、届出受理業務を行った。

区 分	設 置 届	廃 止 届
水道法（専用水道）に基づく届出	0	0
水道法（簡易専用水道）に基づく届出	2	1
三重県小規模水道条例に基づく届出	0	0

○ 伊勢広域環境組合

し尿等処理、火葬業務について、伊勢市、明和町、玉城町、度会町の1市3町で構成する伊勢広域環境組合で衛生的、効率的に行った。

業 務 名	施 設	構 成 市 町
し尿等処理業務	クリーンセンター	伊勢市、玉城町、度会町
火葬業務	斎場	伊勢市、明和町、玉城町、度会町

(1) 分担金内訳（伊勢市分）

区 分	クリーンセンター	斎 場	計	備 考
共通経費	千円 2,291	千円 506	千円 2,797	平等割 10% 加入事務数割 90%
運営経費	170,087	37,573	207,660	実績割 100%
建設経費	3,238	7,896	11,134	平等割 10%、人口割 90%
公債費	12,773	—	12,773	元利補給金
計	188,389	45,975	234,364	—

(2) 分担金の推移（伊勢市分）

区 分	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度
クリーンセンター	千円 234,673	千円 224,653	千円 206,291	千円 188,389
斎場	46,475	41,221	39,779	45,975

(3) クリーンセンター投入量及び処理量

月 分	処理量 (伊勢市・玉城町・度会町分)	
	内 伊勢市分	
4	t 3,806	t 3,233
5	3,992	3,341

6	t 4,166	t 3,423
7	3,925	3,265
8	3,659	2,977
9	3,509	2,988
10	4,270	3,644
11	3,756	3,155
12	4,009	3,248
1	3,817	3,307
2	3,789	3,274
3	4,599	3,856
計	47,297	39,712

※端数処理により計算が合わない

(4) クリーンセンター処理実績の推移

区 分	26年度	27年度	28年度	29年度
総処理量 (伊勢市・玉城町・度会町分)	t 52,653	t 51,531	t 48,584	t 47,297
内 伊勢市分	43,335	42,634	40,030	39,712

※市内し尿収集運搬業・浄化槽清掃業許可業者数8業者、許可車両台数37台（本許可車両26台、予備車両11台）

(5) 斎場利用状況

区 分	明和町・玉城町・度会町	管 外	伊勢市	計
12歳以上の者	件 504	件 80	件 1,557	件 2,141
12歳未満の者	2	0	3	5
死産児	14	2	23	39
計	520	82	1,583	2,185
胞衣汚物	33件			
霊安室利用	13件			

(6) 斎場利用実績の推移

区 分	26年度	27年度	28年度	29年度
総利用数 (伊勢市・明和町・玉城町・度会町・管外)	件 2,001	件 2,095	件 2,113	件 2,185
内 伊勢市分	1,475	1,506	1,541	1,583

※胞衣汚物及び霊安室利用を除く

○ 生物多様性保全活動の推進

市内においてもブラックバスやミドリガメ、アライグマ等の外来種が多く見られるようになり、外来種が在来種の生息に悪影響を及ぼしていることを認識し対策を進める必要がある。生物多様性保全活動の一環として動植物の生息・生育状況の把握に努めるとともに在来種の保護を行う活動、啓発活動を実施した。

実施日	実施事業名	概要	備考
29. 5. 20	オオキンケイギク駆除活動	東大淀まちづくり協議会主催でオオキンケイギクの駆除活動を実施した。	
29. 5. 27	池干し	朝熊山麓公園親水公園内の池の水抜きを行い、皇學館大学生と外来生物の駆除を行った。	
29. 9. 5	しじみの放流と水生生物観察	伊勢市環境会議と協同してしじみの放流と勢田川に生息する水生生物を観察した	参加者 明倫小4年生 57人
29. 10. 16	有識者による生物出前講座	市内有識者の協力を得て明倫小学校へ出前授業を実施し、身近な植物について説明をした。	参加者 明倫小4年生 57人
30. 3. 6	生物多様性研修会	生物多様性に関する理解を深めるため職員向け研修会を実施した。	参加者 34人

※生物多様性…多様な生き物が多様な環境に豊かに生息している状態

清 掃 課

○ ごみゼロ推進関係

1 「伊勢市ごみ処理基本計画」の推進

(1) 伊勢廃棄物減量等推進審議会の開催

ごみ処理における施策取組状況や推進状況を報告し、意見をいただいた。

【廃棄物減量等推進審議会】

伊勢市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例第8条の規定に基づき設置

構 成：学識経験者（2名）、市民（2名）、事業者等（2名）、地域住民組織（3名）、再生資源業者（1名）、関係行政機関（2名）

会 長：深草 正博 氏（皇學館大学 教育学部教授）

副会長：宮岡 邦任 氏（三重大学 教育学部教授）

(2) 啓発事業

ア 広報いせ及びケーブルテレビ「伊勢市行政チャンネル」による啓発

広報いせ「めざせ！ごみゼロのまち」コーナー及びケーブルテレビ「伊勢市行政チャンネル」によりごみの分け方・出し方を周知し、また、時期に応じて排出されるごみに着目した記事により適正排出を啓発した。

イ 自治会に対する説明会等の開催

依頼があった自治会等を対象に、ごみの分別や資源化に関する説明会を開催し、地域での分別及び資源化意識の向上を図った。

ウ こども向け分別ガイドブックの配布

皇學館大学の学生と協働で作成した、ごみ分別PRキャラクターによる「こども向けごみ分別ガイドブック」を市内の幼稚園・保育園年長学年の子どもたちに配布し啓発した。

(3) 調査事業

市民が排出する燃えるごみの調査を行い、資源物の混入など分別状況を把握した。

ア 実施日 平成29年12月21日及び22日

イ 分別状況

品 目	割 合	品 目	割 合
生ごみ	41.4%	段ボール	0.5%
その他の燃えるごみ	27.8	布・衣類	4.3
雑誌・雑紙類	11.1	プラスチック製容器包装	8.3
新聞・折込チラシ	5.2	ペットボトル	0.4
飲料用紙パック	0.7	不燃ごみ	0.3

2 ごみの適正処理

(1) ごみ排出量及び処理経費

ごみの減量・資源化のための分別収集を推進した結果、過去5年間のごみ排出量及び処理

経費の推移は次のとおりであった。

ア ごみ排出量の推移

年 度	25年度	26年度	対前年 度増減	27年度	対前年 度増減	28年度	対前年 度増減	29年度	対前年 度増減
燃える ごみ	42,828 ^t	43,683 ^t	2.0%	43,159 ^t	△1.2%	42,948 ^t	△0.5%	42,604 ^t	△0.8%
粗大ごみ	1,236	1,145	△7.4	1,191	4.0	1,163	△2.4	1,287	10.6
小 計	44,064	44,828	1.7	44,350	△1.1	44,111	△0.5	43,891	0.5
資源物	6,379	6,625	3.9	6,333	△4.4	5,992	△5.4	5,746	△4.1
缶・金属類	836	886	6.0	999	12.8	911	△8.8	984	8.0
投棄場 搬入量	1,200	921	△23.3	582	△36.8	660	13.4	593	△10.2
合 計	52,479	53,260	1.5	52,264	△1.9	51,674	△1.1	51,214	△0.9

※台風 21 号に係る災害廃棄物排出量の 605 t は総排出量に含まない。

※対前年度増減 (%) = (当該年度 - 前年度) / 前年度 × 100

台風 21 号に係る災害廃棄物排出量内訳

品 目	燃えるごみ	粗大ごみ	資源物	缶金属類
量 (t)	420.00	144.32	10.46	38.38

イ ごみの各平均排出量

年 度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度
各 年 度 末 人 口 (人)	131,289	130,338	129,353	128,288	127,064
各 年 度 末 世 帯 数 (世帯)	54,193	54,333	54,554	54,787	54,913
総 ご み 排 出 量 (t)	52,479	53,260	52,264	51,674	51,214
1 日 平 均 排 出 量 (t/日)	143.77	145.92	143.19	141.57	140.31
1 日 1 人 平 均 排 出 量 (g/人・日)	1,095.1	1,119.5	1,107.0	1,103.55	1,104.27
1 日 1 世 帯 平 均 排 出 量 (g/世帯・日)	2,653.0	2,685.6	2,624.7	2,584.1	2,555.2

※台風 21 号に係る災害廃棄物排出量の 613.16t は総ごみ排出量に含まない。

※各年度末人口・世帯数は町別統計（住民基本台帳）を引用。

ウ 処理経費の推移

年 度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度
処理経費	円 1,502,252,000	円 1,403,595,000	円 1,477,934,000	円 1,547,994,000	円 1,660,418,046
ごみ1t当りの 処理経費	28,626	26,354	28,278	29,957	32,421
1人当りの 処理経費	11,442	10,769	11,426	12,067	13,068
1世帯当りの 処理経費	27,720	25,833	27,091	28,255	30,237

※台風 21 号に係る災害廃棄物処理金額の 8,477,241 円は含まない。

※処理経費は、毎年度環境省が実施している一般廃棄物処理事業実態調査で報告した数値。

(人件費、収集運搬・最終処分等に係る処理費、車両等購入費、ごみ処理委託料、

組合分担金、各種委員会経費・補助金等に係るその他の経費を合算したもの。）

(2) 資源物の資源化

市内に設置した資源ステーション、資源拠点ステーション等で資源物の分別収集を行い、伊勢広域環境組合清掃工場等の中間処理施設へ搬入し、ごみの資源化を図った。

また、廃棄物投棄場に搬入されたガレキ類についても中間処理施設へ搬入し、ごみの資源化を図った。

なお、過去3年間の委託・売却量、その他の推移は、次のとおりであった。

ア 資源びんの委託量等の推移

年 度	委託量	無 色	茶 色	その他の色	計
	委託料				
27年度	委託量(kg)	479,660	344,750	171,440	995,850
	委託料(円)	63,315	299,933	161,154	524,402
28年度	委託量(kg)	453,320	330,270	167,340	950,930
	委託料(円)	57,118	272,472	146,087	475,677
29年度	委託量(kg)	442,820	325,940	160,810	929,570
	委託料(円)	90,778	260,100	143,281	494,159

イ その他資源物の委託量等の推移

年 度	委託量	プラスチック製容器包装	ガラス・くずびん類	陶磁器類	乾電池	蛍光管	鏡	ガレキ類
	委託料							
27年度	委託量	kg 932,830	kg 158,600	kg 295,180	t 41	t 28	t 3	t 109.04
	委託料	円 438,430	円 2,021,198	円 5,738,299	円 3,763,800	円 2,540,160	円 324,000	円 114,933
28年度	委託量	916,500	154,720	263,720	41	25	6	110.31
	委託料	412,425	2,339,366	5,838,760	3,763,800	2,268,000	648,000	251,983
29年度	委託量	885,090	166,200	231,350	27	22	5	69.23
	委託料	398,290	2,692,440	6,381,018	2,711,880	1,983,696	588,600	157,438

※ガラス・くずびん類とはガラス製の食器・板ガラス・割れた資源びんなどのこと。乾電池・蛍光管・鏡について、伊勢広域環境組合から提供を受けた委託量が概数であるため委託料は参考値。

ウ 紙類・布類の売却量等の推移

年 度	売却量 及び 売却額	新聞・折込 チラシ	雑誌・雑紙類	段ボール	飲料用紙 パック		布・衣類	計
					200ml 以外	200 ml		
27 年度	売却量 (kg)	846,240	1,035,820	751,640	23,320	0	169,040	2,826,060
	売却額 (円)	5,077,440	5,179,100	3,758,200	139,920	0	338,080	14,492,740
28 年度	売却量 (kg)	797,020	923,750	720,580	21,230	0	154,780	2,617,360
	売却額 (円)	4,782,120	4,618,750	3,602,900	127,380	0	309,560	13,440,710
29 年度	売却量 (kg)	661,030	889,870	687,630	21,160	0	147,590	2,407,280
	売却額 (円)	4,627,210	5,339,220	3,438,150	126,960	0	147,590	13,679,130

エ その他資源物の売却量等の推移

年 度	売却量 売却額	ペットボトル	小型家電
27年度	売却量	kg 281,235	kg 158,800
	売却額	円 4,347,060	円 593,950
28年度	売却量	280,110	181,040
	売却額	1,786,568	1,384,797
29年度	売却量	275,100	177,490
	売却額	2,860,271	1,735,473

※小型家電については、缶・金属類で分別回収し、ピックアップ方式により回収した。

オ 資源化率の推移

年 度	27年度	28年度	29年度
資源化率	17.01%	16.24%	15.74%

※資源化率（％）＝（再生資源回収団体の資源回収量＋市の資源回収量）／（再生資源回収団体の資源回収量＋ごみ総排出量）×100

市の資源回収量＝（市で回収した資源物量）＋（粗大ごみ処理施設で選別した鉄・アルミ回収量）

なお、平成28年度から「土砂」の委託量を資源物量から除いた。

3 3Rの推進

(1) マイバッグ持参・レジ袋有料化の取り組み

地球温暖化防止と循環型社会構築を目指し、市民・事業者・行政が連携・協力して、マイバッグ持参運動を推進するためにレジ袋有料化の取り組みを行った。

- ・レジ袋辞退率 90.3%（平成29年度）

(2) ごみ減量化容器設置補助金事業

生ごみの自家処理を促進し、ごみの減量化を図ることを目的に、ごみ減量化容器を購入及び設置した市民・事業者に対し補助金を交付した。

ア 家庭用（過去3年間の推移）

年 度	交付申請件数	補助金交付基数	補助金交付額
27年度	77 件	86 基	1,318,800 円
28年度	85	88	1,477,900
29年度	54	59	1,034,400

イ 事業所用

年 度	交付申請件数	補助金交付基数	補助金交付額
27年度	1 件	1 基	810,000 円
28年度	0	0	0
29年度	0	0	0

※平成27年度から補助開始

(3) 廃食用油回収事業

地球温暖化防止と循環型社会の形成のため、ごみの減量化、資源化の推進事業として、市内全域を対象に廃食用油を回収し、再生利用を行った。

ア 廃食用油回収容器設置場所 計81か所

※資源拠点ステーション、小・中学校、中学校給食共同調理場その他の公共施設

イ 回収状況（過去3年間の推移）

年 度	廃食用油回収量
27年度	29,435 ㍓
28年度	27,650
29年度	30,165

(4) ペットボトルキャップの回収

ペットボトルのキャップをプラスチック製容器包装として分別回収しているが、市民がペットボトルキャップ回収・寄附活動運動に協力していただけるよう、市内の資源拠点ステーション、各総合支所生活福祉課、各支所、清掃課にペットボトルキャップ回収容器を設置した。

ア 回収状況（過去3年間の推移）

年 度	重 さ	個数（約）	ポリオワクチン
27年度	7,505.8 kg	3,227,494 個	3,752.9 人分
28年度	8,747.8	3,761,554	4,373.9
29年度	8,227.5	3,537,825	4,114.0

4 排出環境の整備

(1) 廃棄物集積所設置補助事業

燃えるごみの排出場所の集積化を促進し、ごみ収集の効率化を図るとともに、ごみの散

乱を防止し、市民の美化意識の高揚を図ることにより、市民の良好な生活環境を確保することを目的として、燃えるごみ集積所を設置した自治会等に対し補助金を交付した。

ア 交付状況（過去3年間の推移）

年 度	交付申請件数	補助金交付基数	補助金交付額
27年度	件 37	基 56	円 5,832,803
28年度	33	54	4,596,919
29年度	19	27	4,905,147

※利用世帯数に応じて補助金限度額の設定をして実施した。

(2) 廃棄物投棄場管理事業

ア 搬入状況

市民自己搬入分と公共関係搬入分として下記の搬入状況となった。

区 分	伊 勢			小 俣			計		
	車数	搬入量	手数料 収入	車数	搬入量	手数料 収入	車数	搬入量	手数料 収入
市民自己 搬入分	車 156	kg 54,358	円 101,130	車 97	kg 27,962	円 70,720	車 253	kg 82,320	円 171,850
公共関係 搬入分	500	513,677	—	1	280	—	501	513,957	—
計	656	568,035	101,130	98	28,242	70,720	754	596,277	171,850

イ 委託関係

埋立廃棄物の減量・資源化を推進し、廃棄物投棄場を適正管理するため下記の事業を行った。

施行場所	委 託 名	委 託 概 要	金 額	着 手	完 了
朝 熊 町 地 内	ガレキ類再資源化業 務委託	引取量 ガレキ類 54.65t 瓦類 14.58t	円 157,438	29. 4.27	30. 2.19
朝 熊 町 地内ほか	伊勢市廃棄物投棄場 地下水等水質調査	6 か所	993,600	29.10.25	30. 3. 2
朝 熊 町 地 内	土砂再資源化業務委 託	引取量 土砂 499.58t	9,711,835	30. 2.13	30. 3.30
計	3 件	—	10,862,873	—	—

5 啓発・教育の推進

(1) 廃棄物減量等推進員の配置

市と市民をつなぐパイプ役として、また地域のリーダーとして66自治会より推薦された128名を廃棄物減量等推進員として委嘱し、ごみ減量、リサイクルの普及・啓発、ごみの分別・出し方の指導等の役割を依頼した。

(2) 再生資源回収事業奨励金

ごみの減量化を促進し、資源の再生化を図るとともに、ごみに対する市民の意識を高める

ことを目的に、自治会・P T A等再生資源の回収事業を行う団体に対し、奨励金を交付した。

年度	登録 団体数	交付 団体数	回 収 量					奨 励 金 交 付 額
			紙 類	布 類	金 属 缶 類	計	びん	
27年度	団体 165	団体 149	kg 2,428,810	kg 49,000	kg 62,432	kg 2,540,242	本 2,952	円 7,629,350
28年度	165	146	2,122,166	44,430	54,656	2,221,252	2,800	6,671,960
29年度	169	146	2,059,318	40,818	59,694	2,159,830	1,917	6,485,080

※ 1 kg 当たり 3 円、リターナブルびんについては 1 本当たり 3 円の奨励金を交付した。

(3) ごみの分別等についての説明会の実施

希望する団体を対象に伊勢市のごみの現状及びごみの分け方・出し方について、説明会を延べ 46 回開催し、延べ 2,007 人の参加があった。

(4) ごみカレンダーの作成

地区別ごみの収集日を記載した「平成 30 年度版ごみカレンダー」を 65,000 部作成し、広報いせ 3 月 1 日号と同時期に全戸に配布した。

(5) 伊勢市環境会議（ごみ関係）

ごみの減量化・資源化の推進を目的とした以下の事業に取り組んだ。

実 施 日	実 施 事 業 名	概 要	備 考
29. 4. 8	お伊勢さん菓子博 2017開催直前クリーンアップ活動	「お伊勢さん菓子博2017」開催に際し、おもてなしの心を持って来訪者を歓迎するため、県営サンアリーナ周辺を清掃した。(開催日が、5月30日に近かったため、ごみゼロ活動の一環とした。)	参加者 約500人 燃えるごみ 約700袋
29. 10. 9	ごみゼロポスターコンクール	家庭でごみ問題について話し合うきっかけづくりとして、市内小中学校へ「3Rの推進」「ポイ捨て・不法投棄の防止」などをテーマに作品募集を行ない、環境フェアにおいて受賞者への表彰式を開催した。	受賞者 計66人 (応募作品数850作品)

6 不法投棄防止対策事業

(1) パトロール及び不法投棄監視カメラによる防止対策

不法投棄防止に対する啓発看板の作成及び配布とともに、パトロールや監視カメラを設置することにより、不法投棄の未然防止に努めた。

(2) 不法投棄の通報への対応

市民等の通報を受け、現場で投棄物の調査を行い、投棄者を特定できれば警察と連携して撤去を要請し、再発の防止に努めた。投棄者が不明の場合は看板で啓発し、一定期間を経て、更なる不法投棄を招かないように投棄物を回収した。

なお、投棄場所が市の所有地(管理地)以外の場合は、土地の所有者(管理者)に連絡して対応を求めた。

ア 主な不法投棄物の回収状況（過去3年間の推移）

年 度	テレビ	冷蔵庫 冷凍庫	洗濯機 衣類乾燥機	エアコン	タイヤ
27年度	台 101	台 26	台 13	台 2	本 89
28年度	83	16	21	1	90
29年度	62	17	18	4	63

7 広告収入の推進

新たな財源の確保及び事業経費の削減を図るため、じん芥収集車両・ごみカレンダーにおいて広告主の募集を行い、企業広告を掲載した。

事業名	広告媒体	広告掲載数	収入額
じん芥収集車両掲載広告事業	じん芥収集車両	台 5	円 810,000
ごみ減量・資源化事業一般経費	ごみカレンダー	枠 18	540,000
計	—	23	1,350,000

○ 一般廃棄物収集関係

市内の一般廃棄物（燃えるごみ、粗大ごみ、資源物及び小動物の死体）を車両36台、収集人員44名の体制（一部民間委託）で収集を行った。収集した一般廃棄物については、伊勢市、玉城町、明和町、度会町の4市町で構成する伊勢広域環境組合、古紙業者及び民間業者へ搬入し処理を行った。

また、ハッピーマンデー（年4回：海の日、敬老の日、体育の日、成人の日）、年末（12月29日）について臨時収集を行った。

1 収集体制

（1）収集車両

ア 所管している車両

4tパッカー	3tパッカー	2tパッカー	2tダンプ	2tパワーリフト
台 2	台 12	台 8	台 5	台 1
2tトラック	1tトラック	軽四ダンプ	軽四トラック	計
台 3	台 1	台 3	台 1	台 36

イ 車両の購入

耐用年数が経過し、老朽化により収集業務に支障が出るため、車両を順次買い替え業務の効率化を図った。

種 別	台 数	金 額
2tパッカー（回転板式）	台 1	円 5,917,019
3tパッカー（回転板式）	1	6,150,710

ウ 車両の売却

老朽化等により不要となった車両をインターネットオークションにて売却した。

種 別	台 数	金 額
ブルドーザ	台 1	円 1,510,000
2tパッカー（プレス式）	1	1,650,000
2tパッカー（プレス式）	1	535,000
2tパッカー（回転板式）	1	776,000

(2) 収集人員

一般廃棄物の収集を職員44名の人員で行った。

(3) 委託関係

資源物回収袋の洗浄及び補修業務を公益社団法人伊勢市シルバー人材センター、粗大ごみ収集運搬業務の一部を民間業者に委託した。

また、旧伊勢市地区及び小俣町地区・二見町地区の資源物収集運搬業務の一部、及び御菌町地区の燃えるごみ及び資源物の収集運搬業務の一部を、下水道の整備等に伴う一般廃棄物処理業等の合理化に関する特別措置法により定めた各地区の合理化学業計画(旧伊勢市地区、小俣町地区、御菌町地区及び二見町地区)に基づき、旧伊勢市地区の4業者、小俣町地区の1業者、御菌町地区の1業者、二見町地区の1業者に委託した。

施行場所	委 託 名	委 託 概 要	金 額	着 手	完 了
伊 勢 市 地 内	資源物回収袋洗浄等 業務委託	回収袋の洗浄及び補修業 務委託 一式	円 11,882,418 【単価契約】 858~1,233 円/人日 事務費8%	29. 4. 1	30 3. 31
”	町内一斉粗大ごみ 収集運搬業務委託	町内一斉粗大ごみ収集運搬 業務委託 一式	1,134,000	29. 4. 1	30 3. 31
伊 勢 市 地 内 (旧伊勢市 地 区)	一般廃棄物収集運搬 (その1)業務委託	資源物(資源びん、紙・布 類、プラスチック製容器包 装)収集運搬業務委託 一式	92,340,000	29. 4. 1	30 3. 31
”	一般廃棄物収集運搬 (その2)業務委託	資源物(資源びん、紙・布 類、ペットボトル)収集運 搬業務委託 一式	81,432,000	29. 4. 1	30 3. 31
”	一般廃棄物収集運搬 (その3)業務委託	資源物(プラスチック製容 器包装)収集運搬業務委託 一式	48,816,000	29. 4. 1	30 3. 31
小 俣 町 地 内	一般廃棄物収集運搬 (その4)業務委託	資源物(プラスチック製容 器包装、紙類、ペットボト ル、資源びん、布類、ガラ ス・くずびん類、陶磁器類) 収集運搬業務委託 一式	27,216,000	29. 4. 1	30 3. 31

御 菌 町 地 内	一般廃棄物収集運搬 (その5)業務委託	燃えるごみ、資源物（缶・ 金属類、資源びん、紙・布 類、プラスチック製容器包 装、ペットボトル、ガラス・ くずびん類、陶磁器類）収 集運搬業務委託 一式	円 33,480,000	29. 4. 1	30 3. 31
二 見 町 地 内	一般廃棄物収集運搬 (その6)業務委託	資源物（資源びん、紙・布 類、プラスチック製容器包 装、ペットボトル、ガラス・ くずびん類、陶磁器類）収 集運搬業務委託 一式	19,332,000	29. 4. 1	30 3. 31
伊 勢 市 地 内 (旧伊勢市 地 区)	一般廃棄物収集運搬 (その7)業務委託	資源物（ガラス・くずびん 類、陶磁器類）収集運搬業 務委託 一式	25,164,000	29. 4. 1	30 3. 31
計	9 件	—	340,796,418	—	—

※合計は、各行の最上段を合算。

2 燃えるごみの収集状況

(1) 一般収集

燃えるごみの収集については、市内全域を2地区（月・木曜日地区、火・金曜日地区）に分け、旧伊勢市地区、二見町地区、小俣町地区を収集14コースにて週2回収集した。御菌町については、業務委託により同様に週2回収集を行った。

有料収集については、戸別に粗大ごみ等の収集を行った。

町内一斉粗大ごみ収集については、市内各自治会（区）の要請により年1回、収集を行った。

早朝清掃、ボランティア清掃等に伴い発生するごみについては、随時収集を行った。

燃えるごみ		粗大ごみ		計	
延べ収集 車 数	収 集 量	延べ収集 車 数	収 集 量	延べ収集 車 数	収 集 量
車	kg	車	kg	車	kg
19,952	25,348,750	274	251,820	20,226	25,600,570

3 資源物の収集状況

缶・金属類、資源びん、紙・布類（新聞・折込チラシ、雑誌・雑紙類、段ボール、飲料用紙パック、布・衣類）、ペットボトル、プラスチック製容器包装、ガラス・くずびん類、陶磁器類について、市内を22地区（旧伊勢市地区16、二見町地区2、小俣町地区2、御菌町地区2）に分け、1,004か所の資源ステーションを設置し、プラスチック製容器包装は週1回、缶・金属類、資源びん、紙・布類、ペットボトル、ガラス・くずびん類、陶磁器類は月1回収集を行った。

乾電池、蛍光管については、資源拠点ステーションや市内公共施設の一部115か所で適時収集を行った。

区 分	収集量	区 分	収集量
缶・金属類	kg 1,044,960	布・衣類	kg 147,590

資源びん	kg 1,094,980	ペットボトル	kg 301,440
新聞・折込チラシ	661,030	プラスチック製容器包装	1,087,110
雑誌・雑紙類	889,870	ガラス・くずびん類、陶磁器類	30,630
段ボール	687,630	蛍光管	24,020
飲料用紙パック	21,160	計	5,990,420

※台風 21 号に係る災害廃棄物排出量の缶・金属類 38,380 kg は含まない。

※缶・金属類は、小型家電製品及び乾電池の収集量を含む。

4 資源拠点ステーションの開設状況

資源物の収集効率の向上を図るため、資源拠点ステーションを平成 14 年度から順次開設している。開設状況としては、平成 29 年度末現在で 19 か所（伊勢中央・宇治・船江・城田・中島・佐八・明倫・神社・厚生・早修・北浜・宮本・沼木・大湊・いせトピア・二見・小俣・御菌及び明野）を開設し、支所での管理のほか、公益社団法人伊勢市シルバー人材センター、地元自治会等にステーションでの受付等の業務を委託した。

(1) 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
船江 4 丁目 地内ほか	資源拠点ステーション受付等業務委託	資源物受付及び搬入 車両誘導等業務 一式	円 8,468,402 【単価契約】 858～1,233 円/人日 事務費 8%	29. 4. 1	30 3. 31
宮後 2 丁目 地内	伊勢中央資源拠点ステーション受付等業務委託	資源物受付及び搬入 車両誘導等業務 一式	1,900,000	29. 4. 1	30 3. 31
宇治浦田 2 丁目 地内	宇治資源拠点ステーション受付等業務委託	資源物受付及び搬入 車両誘導等業務 一式	700,000	29. 4. 1	30 3. 31
中須町 地内	城田資源拠点ステーション受付等業務委託	資源物受付及び搬入 車両誘導等業務 一式	700,000	29. 4. 1	30 3. 31
二見町三津 地内	二見資源拠点ステーション受付等業務委託	資源物受付及び搬入 車両誘導等業務 一式	700,000	29. 4. 1	30 3. 31
前山町 地内	宮本資源拠点ステーション受付等業務委託	資源物受付及び整理	48,000	29. 4. 1	30 3. 31
計	6 件	—	12,516,402	—	—

※合計は、各行の最上段を合算。

5 一般廃棄物処理手数料

(1) 粗大ごみ等の有料収集手数料として 596 件、1,690,570 円を徴収した。

また、猫等の小動物 604 体の死体収集を行い、そのうちペットとして飼われていた 59 体については、手数料として、60,170 円を徴収した。

(2) 天災等特別な事由により発生した一般廃棄物処理手数料の免除を行った。

区 分	火 災	台 風	強 風	計
件 数	件 11	件 8	件 0	件 19

6 伊勢市ふれあい収集事業

一人暮らしで一定以上の介護認定を受けている高齢者や身体が不自由な方など、燃えるごみや資源物を自ら集積所等まで出すことが困難な家庭に対し、燃えるごみ及び資源物の戸別収集を行う、ふれあい収集事業を実施した。(収集回数 52 回、収集量 8,960kg)

利用希望者の申請をもとに 4 回の審査会を開催し、4 件の審査の結果 4 件の実施を決定した。

○ 伊勢広域環境組合

伊勢市、玉城町、明和町、度会町の 1 市 3 町で構成する伊勢広域環境組合で、ごみの適正処理を衛生的、効率的に行えるよう努めた。

1 分担金内訳

区 分	伊 勢 市 分			備 考
	ご み	粗大ごみ	計	
共通経費	千円 5,124	千円 1,117	千円 6,241	平等割 10% 加入事務数割 90%
運営経費	380,479	82,912	463,391	実績割 100%
建設経費	183,207	—	183,207	平等割 10% 人口割 90%
公債費	186,506	—	186,506	元利補給金
清掃事業所負担金	3,121.2	—	3,121.2	
計	758,437.2	84,029	842,466.2	

○ 朝熊山麓公園芝生広場整備工事

伊勢廃棄物投棄場の跡地（指定区域）を朝熊山麓公園の区域に含め、グラウンド・ゴルフ場としても利用できる公園として整備するため、造成工事を行った。

1 工事関係

施工場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
朝熊町 地内	(注) 朝熊山麓公園芝生広場 整備工事	グラウンド表層工 12,000 m ²	円 18,645,120	29. 5. 12	29. 9. 28
〃	(注) 朝熊山麓公園芝生広場 整備（その 2）工事	四阿設置工 1 基 柵工 140m	11,472,840	29. 6. 9	29. 9. 28
計	2 件	—	30,117,960	—	—

(注) 基盤整備課施行